

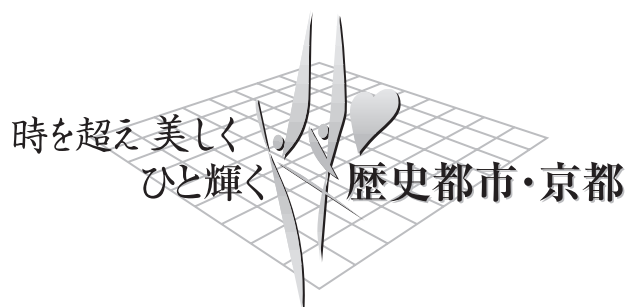
平成18年度 第1回
市政総合アンケート報告書

京都の文化芸術

(この冊子の本文用紙は、再生紙を使用しています)



古紙配合率100%再生紙を使用しています



は じ め に

個性と魅力に満ち、誰もが心豊かに安心して暮らせるまちづくりを進めていくためには、市民の皆様のご意見やニーズを的確に把握することが大切です。そのため、京都市では、平成11年度から、毎回 3,000人の方を対象として、市政の重要課題について市政総合アンケート調査を実施しています。

平成18年度の第1回目に当たる今回の調査は、「京都の文化芸術」をテーマとして実施しました。

アンケートでは、市民の皆様が、京都の文化芸術についてどのような認識を持っておられるか、またその振興に向けた施策についてどう考えておられるかなどについてお尋ねしました。

今後、この調査で得た結果を、京都を常に新たな魅力に満ちあふれた文化芸術都市として創生するための施策を総合的・計画的に実施する「文化芸術都市創生計画」の策定に生かして参ります。

最後になりましたが、調査にご協力いただきました市民の皆様に対しまして心からお礼申し上げます。

(注) 百分の合計は端数処理の関係で100%にならないものもあります。
複数回答の百分の合計は100%になりません。

調 査 概 要

1. 調査テーマ 「京都の文化芸術」
2. 調査目的 京都の文化芸術についての認識や、その振興に向けた施策などについて尋ね、京都を常に新たな魅力に満ちあふれた文化芸術都市として創生するための施策を、総合的・計画的に実施するために策定する「文化芸術都市創生計画」の参考とする。
3. 調査対象 20歳以上の市民3,000人
(住民基本台帳及び外国人登録データから無作為抽出)
4. 調査方法 回答用紙への記入方式 (郵送)
5. 調査期間 平成18年6月26日(月) ~ 平成18年7月10日(月)
6. 回収状況 回収数 1,201 (回収率 40.0%)
うち有効回答数 1,201 (回収率 40.0%)
7. 回答者属性

< 区別内訳 >

区	人数	百分比
北	93 ^人	7.8 [%]
上京	82	6.8
左京	163	13.6
中京	102	8.5
東山	36	3.0
山科	100	8.3
下京	52	4.3
南	67	5.6
右京	153	12.7
西京	124	10.3
伏見	210	17.5
無回答	19	1.6
計	1,201	100.0

< 性別年齢別内訳 >

年代	男	女	無回答	計	百分比
20歳代	59 ^人	63 ^人	0 ^人	122 ^人	10.2 [%]
30歳代	61	109	0	170	14.2
40歳代	68	104	0	172	14.3
50歳代	96	155	3	254	21.1
60歳代	100	137	2	239	19.9
70歳以上	88	122	11	221	18.4
無回答	3	1	19	23	1.9
計	475	691	35	1,201	100.0
百分比	39.6	57.5	2.9	100.0	

< 職業別内訳 >

職業	人数	百分比
自営業	144 ^人	12.0 [%]
会社員	371	30.9
公務員	373	31.1
主婦	28	2.3
学生	188	15.7
無職	63	5.2
その他	34	2.8
無回答		
計	1,201	100.0

結果のあらまし

平成18年度第1回市政総合アンケート調査は、「京都の文化芸術」をテーマとして、市民の皆様が、京都の文化芸術や、その振興に向けた施策についてどう考えておられるかなどについてお尋ねしました。

1 京都の文化芸術についてどう思うか

非常に興味があり、京都の文化芸術にもっと積極的に触れ、楽しみたい。	19.7%
機会があれば、京都の文化芸術に触れ、楽しみたい。.....	66.7%
京都の文化芸術にあまり興味、関心がない。.....	9.2%
<u>京都の文化芸術を楽しみたいと感じている方が8割以上</u>	

2 どのように文化芸術活動を楽しんでいるか

映画やコンサート、展覧会、演劇などを鑑賞する。.....	61.4%
能や狂言、歌舞伎などの伝統芸能を鑑賞する。.....	16.5%
日常生活の中で、絵を描くことや、写真撮影、音楽の演奏などを 楽しんでいる。.....	24.9%
日常生活の中で、お花を生けたりお茶を点てたり伝統文化に親しんでいる。	18.4%
絵画、写真撮影、音楽などの習い事をしている。.....	8.4%
華道、茶道などの伝統文化の習い事をしている。.....	5.1%
自らが芸術創作活動をしている。.....	5.1%
<u>「映画やコンサート、展覧会、演劇などの鑑賞」が6割</u>	

3 どのくらいの頻度で文化芸術活動を楽しんでいるか

ほぼ毎日.....	5.5%
週に1～2回くらい.....	15.3%
月に1～2回くらい.....	33.3%
年に数回程度.....	41.2%
<u>「週に1～2回くらい」「月に1～2回くらい」が合わせて半数</u>	

4 文化芸術都市京都を創生するために必要な取組は何か

市民の皆さんが文化芸術への関心や関わりを強めたり、芸術家や芸術団体が様々な文化芸術活動を活発にする。……………	51.0%
行政と関係機関が連携して文化芸術の振興に取り組む。……………	59.9%
企業が文化芸術活動への支援を活発にする。……………	49.4%
<u>「行政と関係機関が連携して文化芸術の振興に取り組む」が6割</u>	

5 文化芸術活動によって、どのように地域の活性化が進むか

地域で文化的な催しや活動が行われ、住民の方々が参加することにより、地域の連帯感が強まる。……………	53.1%
文化的な催しや活動に、他の地域からも人が集まることにより交流が生まれ、にぎわいが生まれる。……………	61.3%
文化的な催しや活動が行われることにより、周辺の商店街や店舗等の集客が増加する。……………	44.5%
<u>「文化的な催しや活動に、他の地域からも人が集まることにより交流が生まれ、にぎわいが生まれる」が6割</u>	

6 暮らしの文化の継承に必要な取組は何か

生涯学習の講座やシンポジウム、ワークショップ、リーフレット作成などにより暮らしの文化の普及啓発を行う。……………	36.6%
暮らしの文化の継承に携わる市民の皆さんを表彰する。……………	12.9%
学校の授業や課外活動などにおいて暮らしの文化を子どもたちに教える。……………	80.3%
家庭において暮らしの文化を子どもたちに教える。……………	46.0%
地域ぐるみで、地蔵盆や門掃きなどの行事や習慣を継承する。……	61.2%
<u>「学校の授業や課外活動などにおいて暮らしの文化を子どもたちに教える」が8割</u>	

7 伝統文化を保存・継承するために必要な取組は何か

練習や発表のための場所を提供する。……………	45.9%
伝統文化の継承者やその活動に対する資金を助成する。……………	35.0%
伝統文化の継承者を表彰する。……………	12.6%
市民の皆さんが気軽に参加・鑑賞できる催しを実施する。……………	84.3%
伝統文化に関する情報を発信する。……………	47.0%
<u>「市民の皆さんが気軽に参加・鑑賞できる催しを実施する」が8割以上</u>	

8 新しい文化芸術活動を活発にするために必要な取組は何か

練習や発表のための場所を提供する。.....	54.2%
新しい文化芸術活動をする人やその活動に対する資金を助成する。	37.1%
新しい文化芸術活動をする人を表彰する。.....	10.2%
市民の皆さんが気軽に参加・鑑賞できる催しを実施する。.....	79.2%
新しい文化芸術活動に関する情報を発信する。.....	47.2%
<u>「市民の皆さんが気軽に参加・鑑賞できる催しを実施する」が8割</u>	

9 国内外との文化芸術交流を活発にするために必要な取組は何か

国際的な音楽祭や映画祭などを開催する。.....	49.3%
関係機関と連携して海外の文化芸術活動を市民の皆さんに紹介したり、 京都の文化芸術を海外に発信する。.....	61.5%
京都の芸術家を他の地域へ派遣したり、国内外の芸術家を京都へ招く。	47.2%
<u>「関係機関と連携して海外の文化芸術活動を市民の皆さんに紹介したり、 京都の文化芸術を海外に発信する」が6割</u>	

10 文化芸術と産業が連携、発展するために必要な取組は何か

京都の文化芸術の魅力を体感できる観光コースの設定など、京都の文化芸術を観光に生かす。	69.9%
京都の伝統文化の技術を活用した新たな商品を開発する。.....	38.9%
デザイン産業や映像産業などの企業と、芸術系の学校が連携して、新たな商品を開発する。	40.4%
<u>「京都の文化芸術の魅力を体感できる観光コースの設定など、京都の文化 芸術を観光に生かす」が7割</u>	

質問事項と集計結果

【文化芸術に対する興味・関心について】

問1 京都には能、狂言、茶道、華道などの伝統文化が息づくとともに、音楽や美術、演劇などのジャンルで新しい創造活動が活発に行われています。

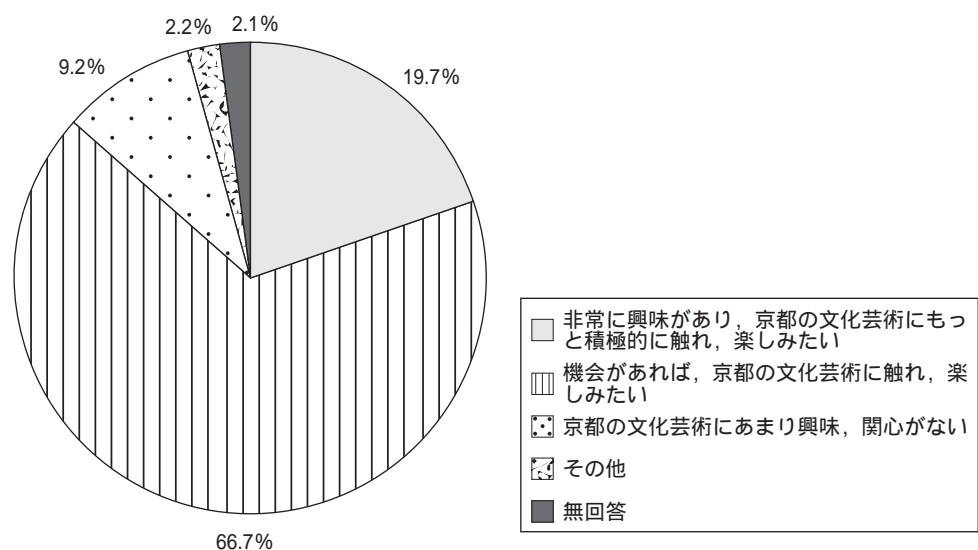
あなたは、このような京都ならではの豊かな文化芸術についてどのように思われますか。次の中から1つを選び、印を付けてください。

- | | |
|--|-------|
| 1 非常に興味があり、京都の文化芸術にもっと積極的に触れ、楽しみたい。
..... | 19.7% |
| 2 機会があれば、京都の文化芸術に触れ、楽しみたい。 | 66.7% |
| 3 京都の文化芸術にあまり興味、関心がない。 | 9.2% |
| 4 その他 | 2.2% |
| (無回答) | 2.1% |

京都の文化芸術を楽しみたいと感じている方が8割以上

全体では、「機会があれば、京都の文化芸術に触れ、楽しみたい」と回答された方が66.7%で最も多く、「非常に興味があり、京都の文化芸術にもっと積極的に触れ、楽しみたい」が19.7%、「京都の文化芸術にあまり興味、関心がない」が9.2%と続いています。

図1 - 1 (全体)



男女別では、「非常に興味があり、京都の文化芸術にもっと積極的に触れ、楽しみたい」「機会があれば、京都の文化芸術に触れ、楽しみたい」と回答された方は、女性が上回り、年代的には30～40歳代の方々の関心が高い傾向があります。

図1 - 2 (男女別, 年代別)

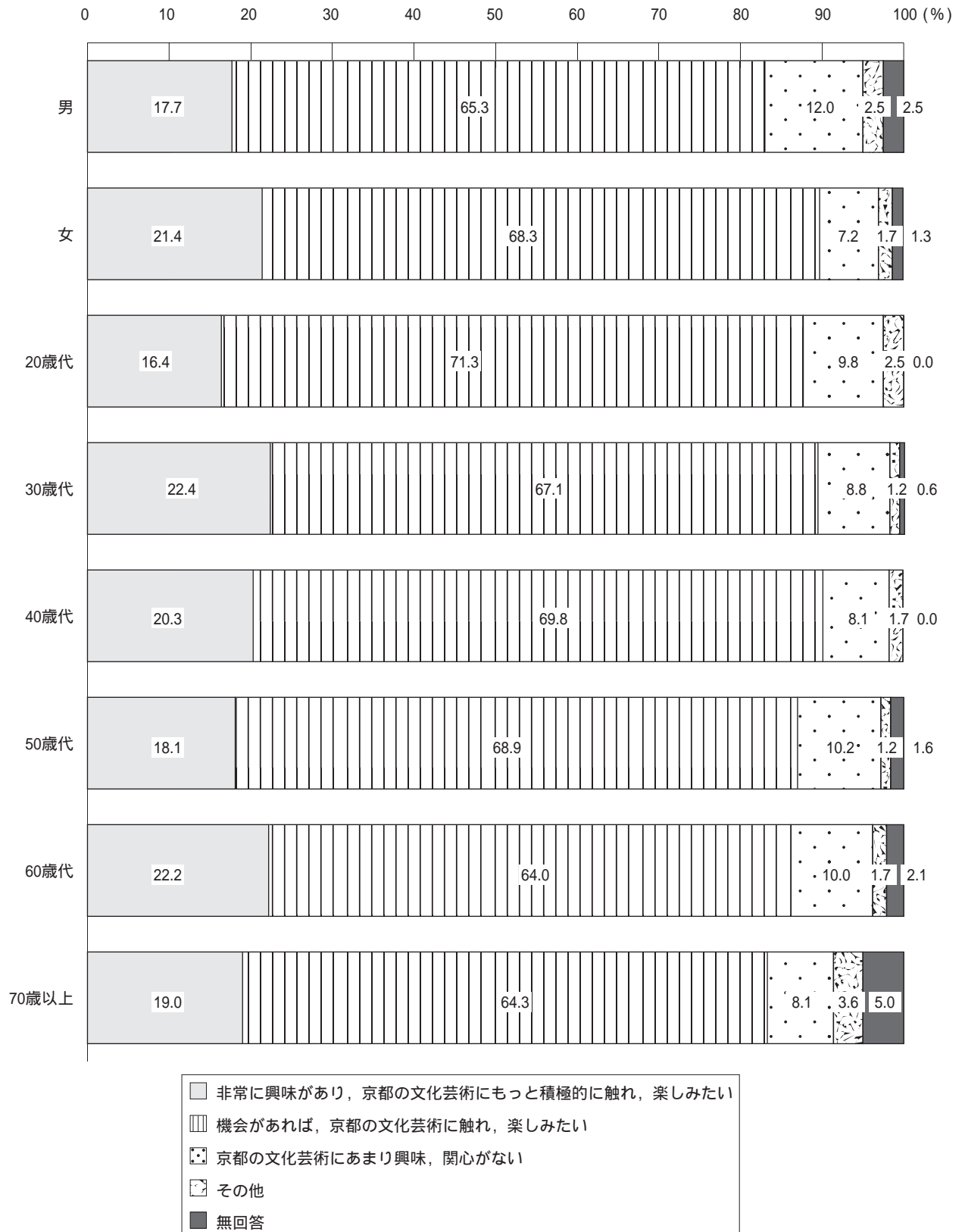


表 1 - 1 (全体, 男女別, 年代別, 職業別, 行政区別)

(%)

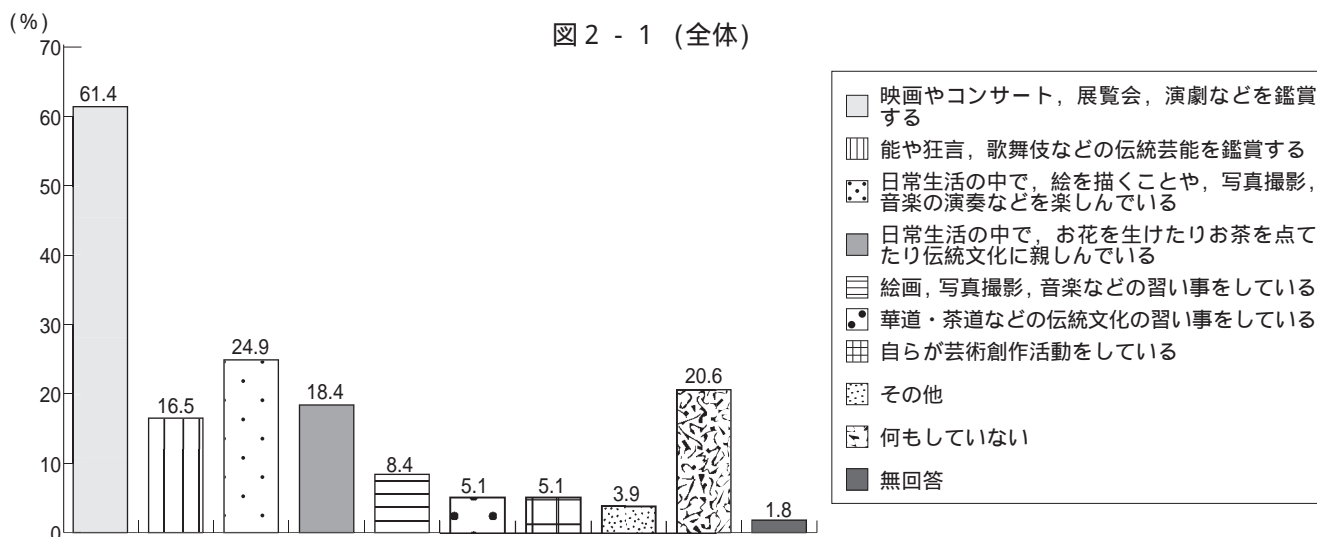
	非常に興味があり、京都の文化芸術にもっと積極的に触れ、楽しみたい	機会があれば、京都の文化芸術に触れ、楽しみたい	京都の文化芸術にあまり興味、関心がない	その他	無回答
全 体	19.7	66.7	9.2	2.2	2.1
男	17.7	65.3	12.0	2.5	2.5
女	21.4	68.3	7.2	1.7	1.3
20 歳 代	16.4	71.3	9.8	2.5	0.0
30 歳 代	22.4	67.1	8.8	1.2	0.6
40 歳 代	20.3	69.8	8.1	1.7	0.0
50 歳 代	18.1	68.9	10.2	1.2	1.6
60 歳 代	22.2	64.0	10.0	1.7	2.1
70 歳 以上	19.0	64.3	8.1	3.6	5.0
自営業・自由業	25.7	62.5	5.6	4.2	2.1
会社員・公務員	18.3	68.5	11.3	0.8	1.1
主婦・主夫	17.2	73.2	7.5	1.1	1.1
学 生	21.4	67.9	10.7	0.0	0.0
無 職	19.7	59.0	12.8	4.3	4.3
そ の 他	33.3	54.0	6.3	4.8	1.6
北 区	19.4	67.7	7.5	3.2	2.2
上 京 区	22.0	65.9	6.1	2.4	3.7
左 京 区	25.2	63.8	6.7	3.1	1.2
中 京 区	27.5	62.7	6.9	2.0	1.0
東 山 区	22.2	69.4	2.8	5.6	0.0
山 科 区	21.0	69.0	7.0	2.0	1.0
下 京 区	17.3	67.3	7.7	3.8	3.8
南 区	14.9	61.2	22.4	0.0	1.5
右 京 区	15.0	69.3	13.1	0.7	2.0
西 京 区	17.7	70.2	9.7	1.6	0.8
伏 見 区	17.6	68.6	10.0	1.4	2.4

問2 あなたは、文化芸術活動をどのように楽しんでいますか。次の中から当てはまるものすべてを選び、印をつけてください。

- | | |
|--|-------|
| 1 映画やコンサート、展覧会、演劇などを鑑賞する。 | 61.4% |
| 2 能や狂言、歌舞伎などの伝統芸能を鑑賞する。 | 16.5% |
| 3 日常生活の中で、絵を描くことや、写真撮影、音楽の演奏などを楽しんでいる。 | 24.9% |
| 4 日常生活の中で、お花を生けたりお茶を点てたり伝統文化に親しんでいる。 | 18.4% |
| 5 絵画、写真撮影、音楽などの習い事をしている。 | 8.4% |
| 6 華道、茶道などの伝統文化の習い事をしている。 | 5.1% |
| 7 自らが芸術創作活動をしている。 | 5.1% |
| 8 その他 | 3.9% |
| 9 何もしていない。 | 20.6% |
| (無回答) | 1.8% |

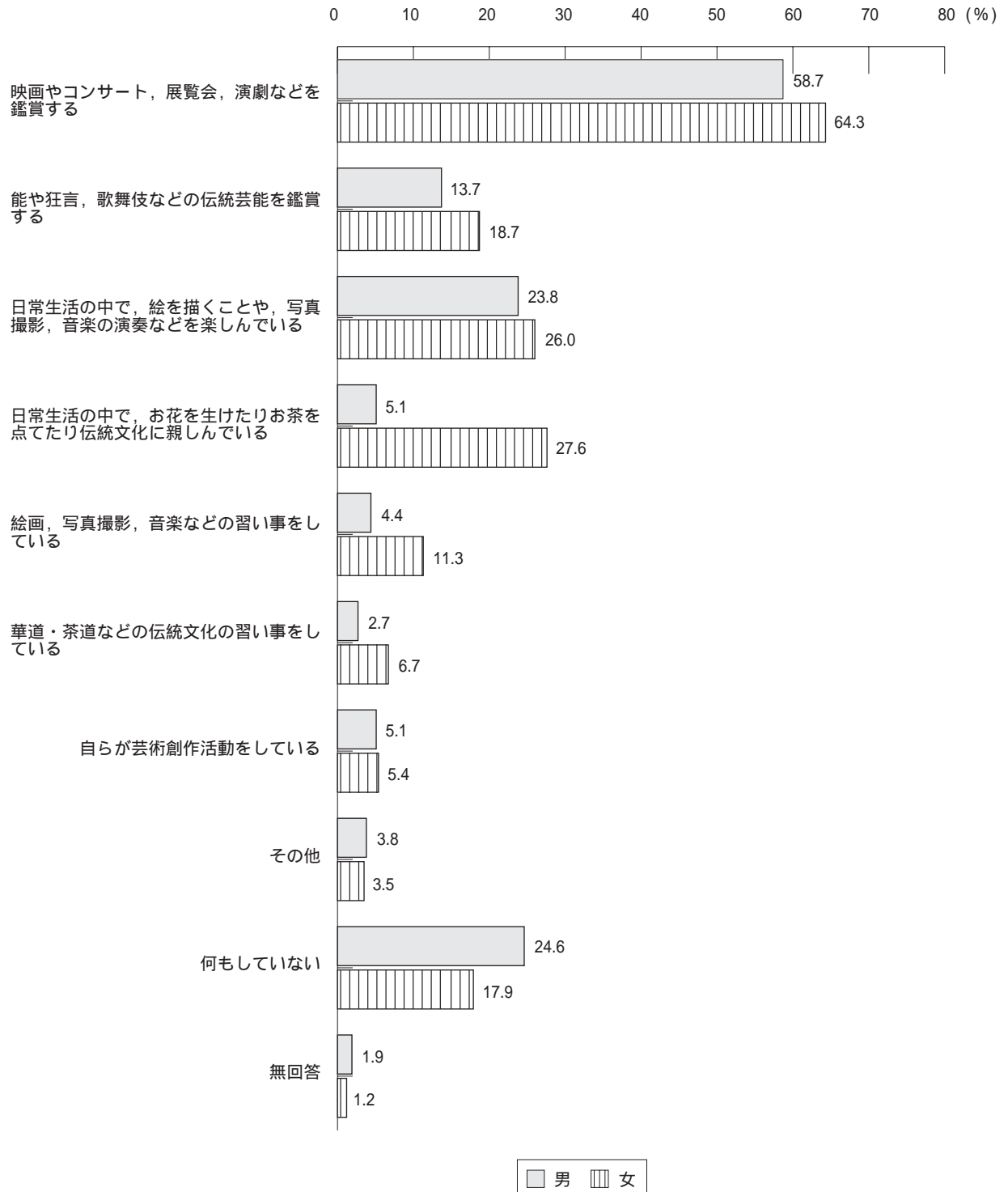
「映画やコンサート、展覧会、演劇などの鑑賞」が6割

全体では、「映画やコンサート、展覧会、演劇などを鑑賞する」と回答された方が61.4%で最も多く、「日常生活の中で、絵を描くことや、写真撮影、音楽の演奏などを楽しんでいる」が24.9%、「日常生活の中で、お花を生けたりお茶を点てたり伝統文化に親しんでいる」が18.4%、「能や狂言、歌舞伎などの伝統芸能を鑑賞する」が16.5%と続く一方、「何もしていない」と回答された方が20.6%となっています。



男女別では、「日常生活の中で、お花を生けたりお茶を点てたり伝統文化に親しんでいる」と回答された方は女性が大きく上回りました。

図 2 - 2 (男女別)



年代別では、「能や狂言、歌舞伎などの伝統芸能を鑑賞する」「日常生活の中で、お花を生けたりお茶を点てたり伝統文化に親しんでいる」と回答された方は、高い年代になるほど多くなる傾向にあります。

図2 - 3 (年代別)

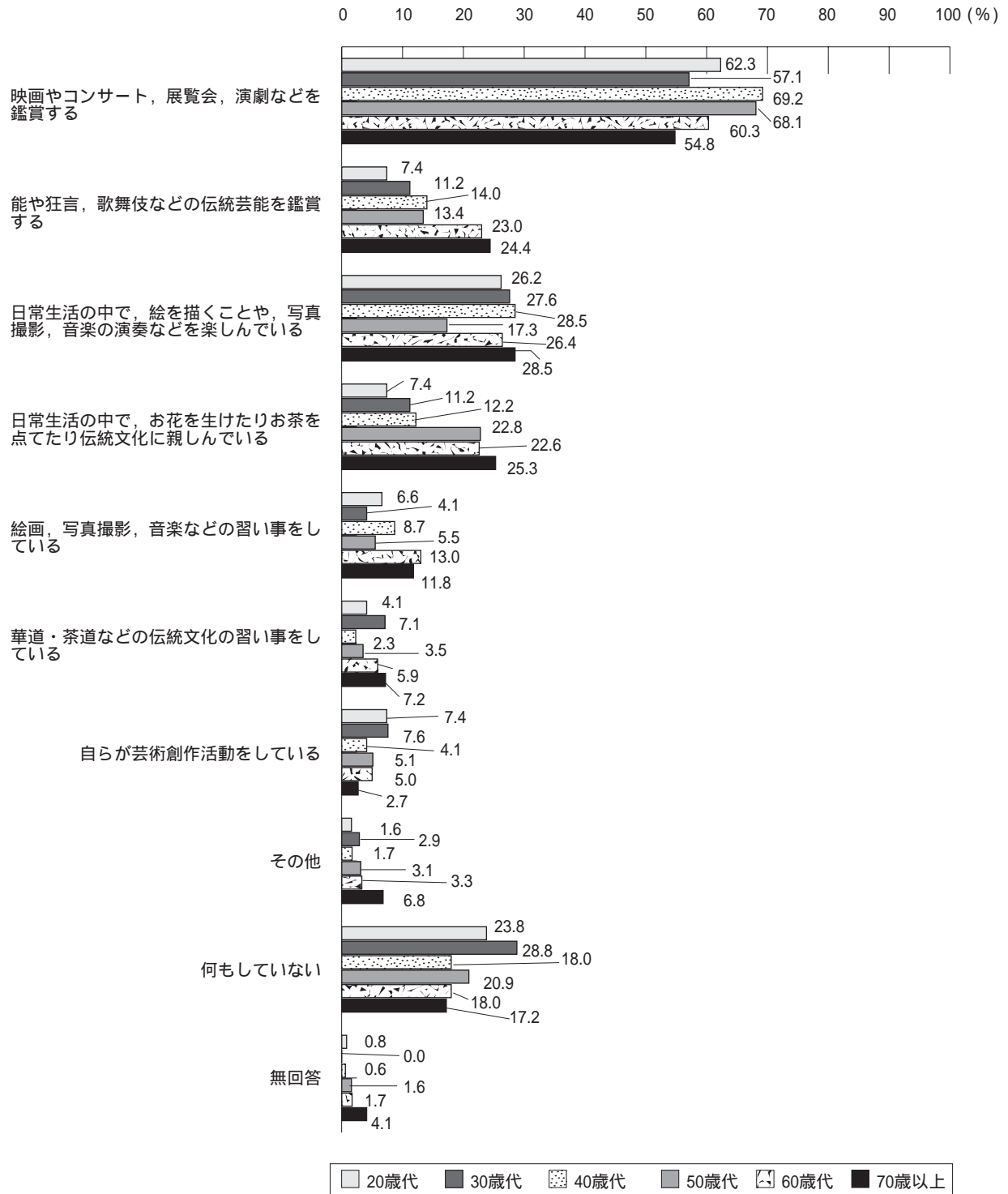


表2 - 1 (全体, 男女別, 年代別, 職業別, 行政区別)

(%)

	映画やコンサート、 演劇などを鑑賞する	能や狂言、歌舞伎などの 伝統芸能を鑑賞する	日常生活の中で、絵を描く ことや、写真撮影、音楽の 演奏などを楽しんでいる	日常生活の中で、お花を生 けたりお茶を点てたり伝統 文化に親しんでいる	絵画、写真撮影、音楽など の習い事をしている	華道・茶道などの伝統文化 の習い事をしている	自らが芸術創作活動をして いる	その他	何もしていない	無回答
全 体	61.4	16.5	24.9	18.4	8.4	5.1	5.1	3.9	20.6	1.8
男	58.7	13.7	23.8	5.1	4.4	2.7	5.1	3.8	24.6	1.9
女	64.3	18.7	26.0	27.6	11.3	6.7	5.4	3.5	17.9	1.2
20 歳 代	62.3	7.4	26.2	7.4	6.6	4.1	7.4	1.6	23.8	0.8
30 歳 代	57.1	11.2	27.6	11.2	4.1	7.1	7.6	2.9	28.8	0.0
40 歳 代	69.2	14.0	28.5	12.2	8.7	2.3	4.1	1.7	18.0	0.6
50 歳 代	68.1	13.4	17.3	22.8	5.5	3.5	5.1	3.1	20.9	1.6
60 歳 代	60.3	23.0	26.4	22.6	13.0	5.9	5.0	3.3	18.0	1.7
70 歳 以上	54.8	24.4	28.5	25.3	11.8	7.2	2.7	6.8	17.2	4.1
自営業・自由業	58.3	21.5	27.8	22.2	9.0	7.6	12.5	3.5	20.8	1.4
会社員・公務員	65.8	11.9	21.8	10.2	4.9	3.8	3.5	1.9	23.5	0.0
主婦・主夫	64.9	18.2	25.2	26.8	12.1	5.6	4.0	4.0	18.2	1.6
学 生	67.9	17.9	35.7	14.3	7.1	14.3	10.7	3.6	21.4	0.0
無 職	48.9	18.1	28.7	16.0	9.0	3.7	2.7	5.3	21.8	4.8
そ の 他	61.9	19.0	25.4	15.9	6.3	4.8	9.5	9.5	14.3	3.2
北 区	68.8	18.3	23.7	19.4	9.7	7.5	3.2	4.3	23.7	0.0
上 京 区	67.1	22.0	26.8	23.2	8.5	8.5	9.8	2.4	17.1	0.0
左 京 区	64.4	18.4	29.4	22.7	9.8	3.7	7.4	5.5	17.8	2.5
中 京 区	66.7	28.4	27.5	18.6	6.9	4.9	4.9	4.9	12.7	1.0
東 山 区	52.8	33.3	16.7	19.4	5.6	8.3	5.6	0.0	25.0	0.0
山 科 区	56.0	16.0	26.0	21.0	5.0	6.0	9.0	2.0	17.0	1.0
下 京 区	65.4	11.5	25.0	9.6	17.3	3.8	0.0	1.9	13.5	5.8
南 区	61.2	7.5	22.4	13.4	13.4	3.0	4.5	6.0	25.4	0.0
右 京 区	56.9	12.4	22.2	17.0	7.2	3.9	2.0	2.0	24.8	2.0
西 京 区	61.3	17.7	26.6	15.3	9.7	1.6	7.3	5.6	21.8	3.2
伏 見 区	60.0	10.5	24.8	17.6	6.7	6.7	3.3	3.3	23.8	1.4

問2で1～8と答えた方のみお尋ねします。

問3 あなたは、文化芸術活動をどのくらいの頻度で楽しんでいますか。次の中から1つ選び、印を付けてください。

- | | | | |
|---|-----------------|----|----|
| 1 | ほぼ毎日 | 5 | 5% |
| 2 | 週に1～2回くらい | 15 | 3% |
| 3 | 月に1～2回くらい | 33 | 3% |
| 4 | 年に数回程度 | 41 | 2% |
| 5 | その他 | 2 | 1% |
| | (無回答) | 2 | 6% |

「週に1～2回くらい」「月に1～2回くらい」が合わせて半数

全体では、「年に数回程度」と回答された方が41.2%で最も多く、以下、「月に1～2回くらい」が33.3%、「週に1～2回くらい」が15.3%、「ほぼ毎日」が5.5%と続いています。

図3 - 1 (全体)

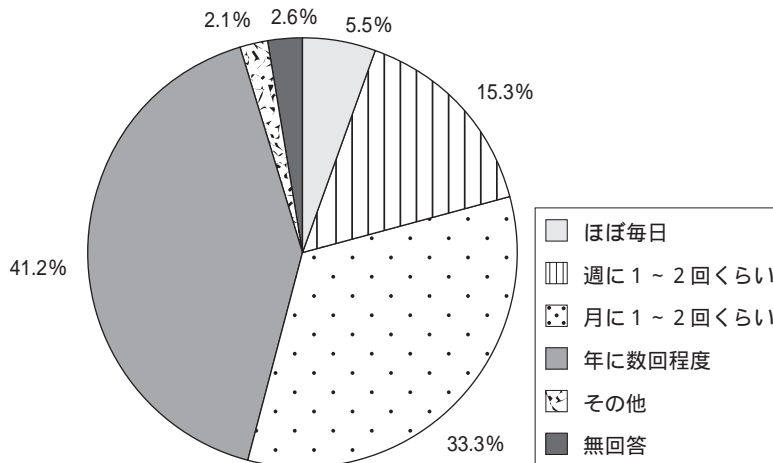


図3 - 2 (男女別・年代別)

男女別では、「ほぼ毎日」「週に1～2回くらい」「月に1～2回くらい」と回答された女性の割合の合計が男性を上回っています。

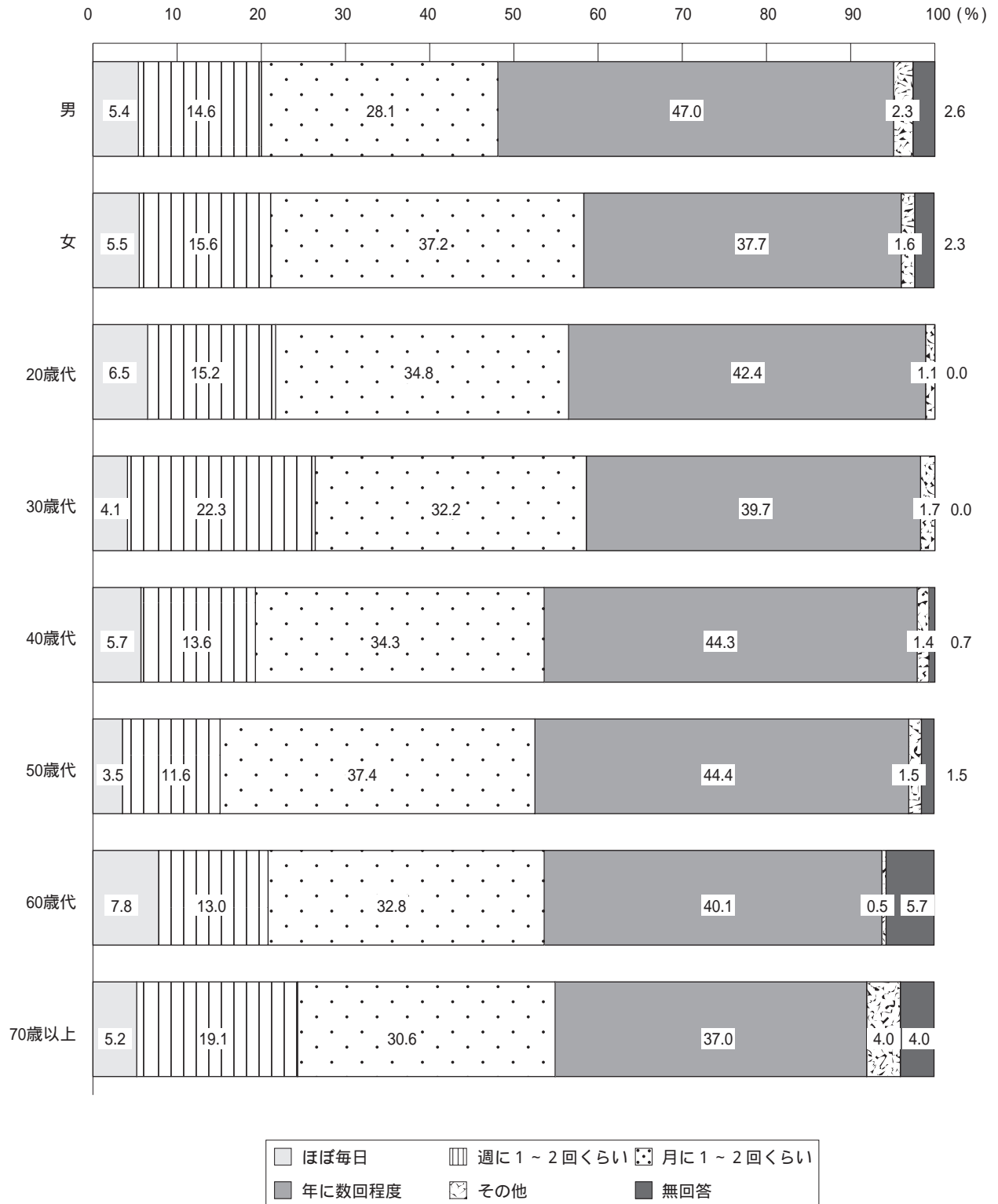


表3 - 1 (全体, 男女別, 年代別, 職業別, 行政区別)

(%)

	ほぼ毎日	週に1〜2回くらい	月に1〜2回くらい	年に数回程度	その他	無回答
全体	5.5	15.3	33.3	41.2	2.1	2.6
男	5.4	14.6	28.1	47.0	2.3	2.6
女	5.5	15.6	37.2	37.7	1.6	2.3
20歳代	6.5	15.2	34.8	42.4	1.1	0.0
30歳代	4.1	22.3	32.2	39.7	1.7	0.0
40歳代	5.7	13.6	34.3	44.3	1.4	0.7
50歳代	3.5	11.6	37.4	44.4	1.5	1.5
60歳代	7.8	13.0	32.8	40.1	0.5	5.7
70歳以上	5.2	19.1	30.6	37.0	4.0	4.0
自営業・自由業	11.6	20.5	25.0	36.6	0.0	6.3
会社員・公務員	2.5	14.7	33.3	46.3	1.4	1.8
主婦・主夫	4.7	14.1	40.3	37.2	1.7	2.0
学生	9.1	27.3	45.5	18.2	0.0	0.0
無職	6.5	14.5	29.7	42.0	5.1	2.2
その他	9.6	11.5	25.0	46.2	5.8	1.9
北区	4.2	12.7	35.2	43.7	0.0	4.2
上京区	1.5	16.2	36.8	41.2	2.9	1.5
左京区	6.2	13.8	40.8	33.8	3.8	1.5
中京区	8.0	21.6	29.5	37.5	1.1	2.3
東山区	7.4	11.1	37.0	33.3	0.0	11.1
山科区	13.4	13.4	31.7	37.8	1.2	2.4
下京区	0.0	22.0	31.7	43.9	0.0	2.4
南区	6.0	18.0	26.0	44.0	4.0	2.0
右京区	1.8	11.6	36.6	46.4	2.7	0.9
西京区	3.2	20.4	29.0	45.2	2.2	0.0
伏見区	7.0	12.7	31.6	43.0	1.9	3.8

【文化芸術都市の創生について】

問4 京都が育んできた優れた文化芸術は、国内外の人々に心のうおいや安らぎを提供してきましたが、近年、社会状況の変化等により、文化芸術都市としての京都の個性や魅力が薄れていくことが心配されています。

あなたは、このような状況に対してどのような取組が必要だと思われますか。当てはまるものすべてを選び、印を付けてください。

- | | |
|--|-------|
| 1 市民の皆さんが文化芸術への関心や関わりを強めたり、芸術家や芸術団体が様々な文化芸術活動を活発にする。 | 51.0% |
| 2 行政と関係機関が連携して文化芸術の振興に取り組む。 | 59.9% |
| 3 企業が文化芸術活動への支援を活発にする。 | 49.4% |
| 4 その他 | 7.8% |
| (無回答) | 4.7% |

「行政と関係機関が連携して文化芸術の振興に取り組む」が6割

全体では、「行政と関係機関が連携して文化芸術の振興に取り組む」と回答された方が59.9%で最も多く、以下、「市民の皆さんが文化芸術への関心や関わりを強めたり、芸術家や芸術団体が様々な文化芸術活動を活発にする」が51.0%、「企業が文化芸術活動への支援を活発にする」が49.4%と続いています。

図4-1 (全体)

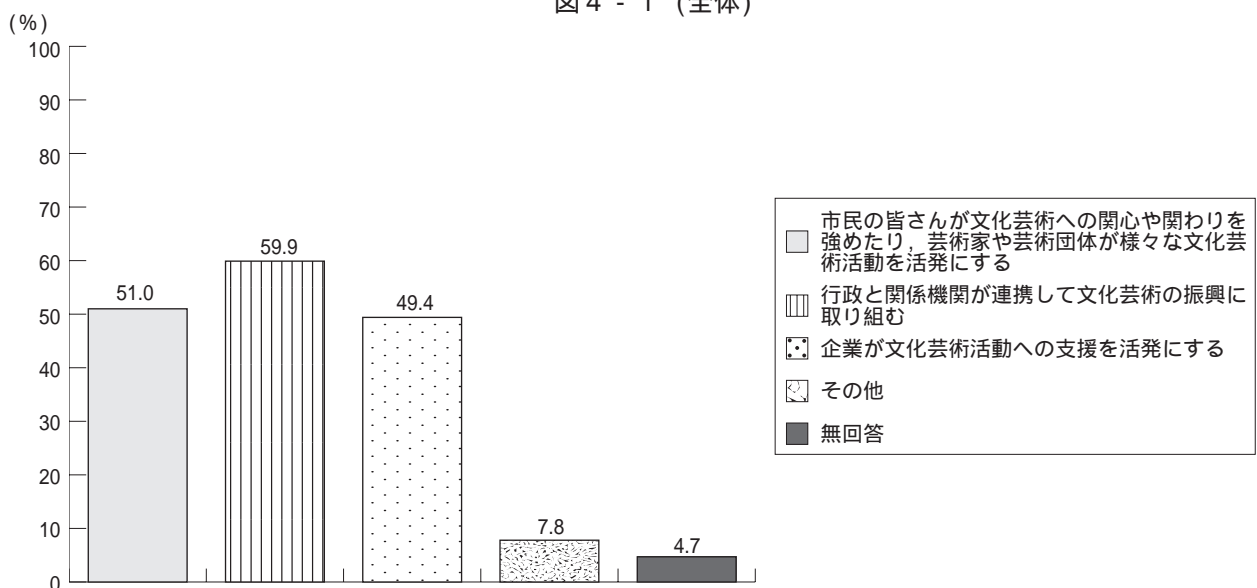
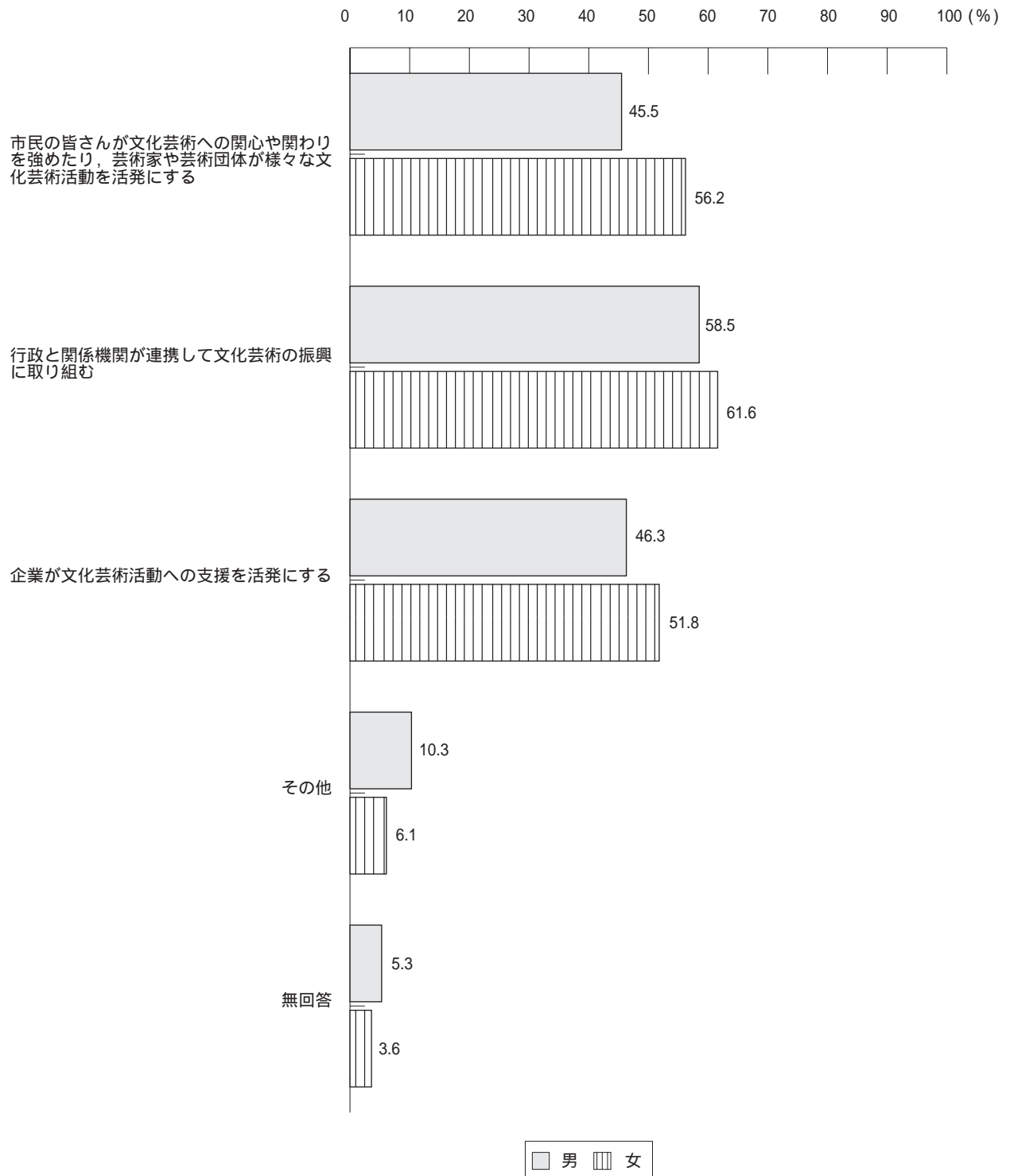


図4 - 2 (男女別)



年代別では、「企業や文化芸術活動への支援を活発にする」と回答された方は40歳代以下の低い年代で多くなっています。

図4 - 3 (年代別)

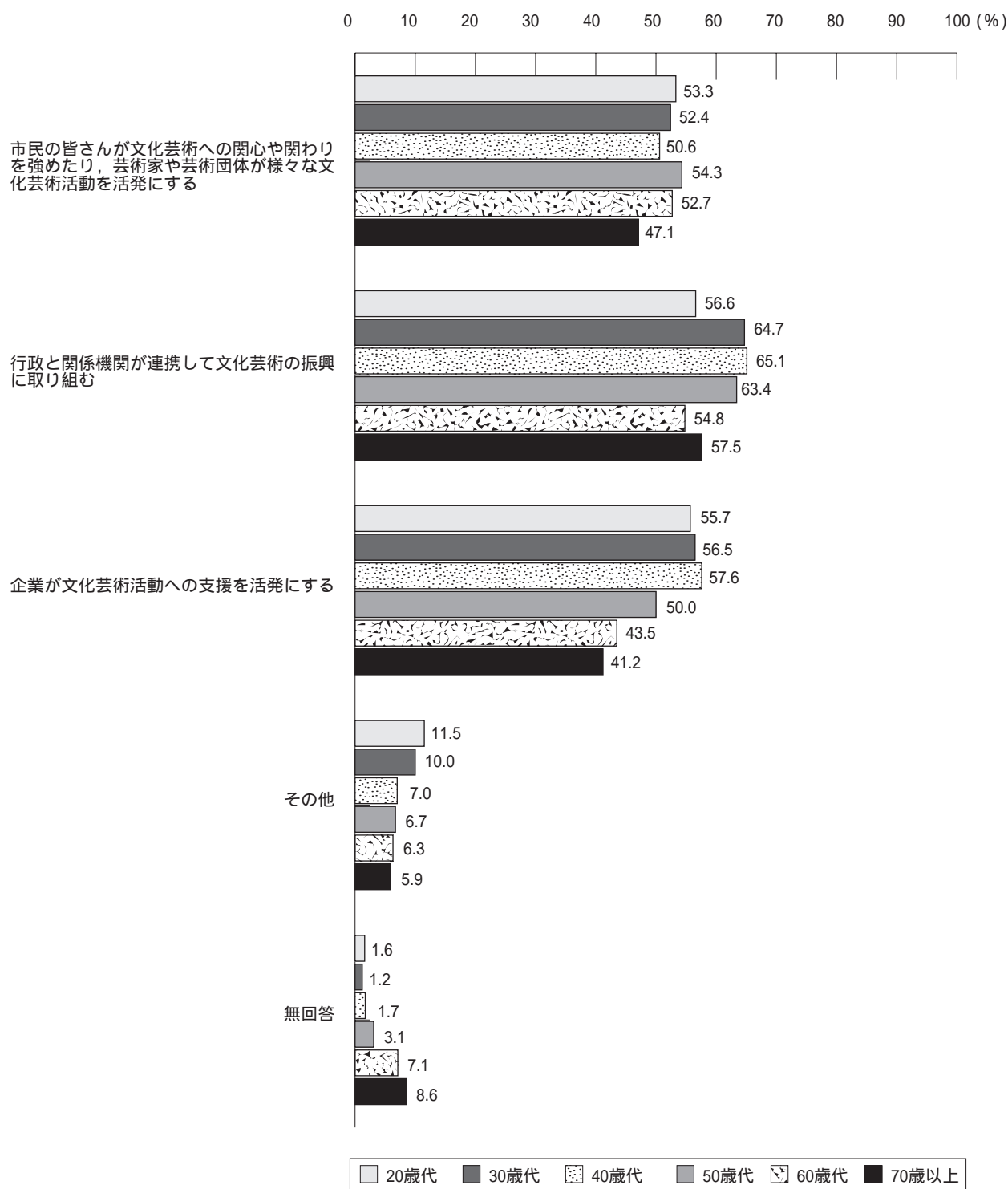


表4 - 1 (全体, 男女別, 年代別, 職業別, 行政区別)

(%)

	市民の皆さんが文化芸術への関心や関わりを強めたり、芸術家や芸術団体が様々な文化芸術活動を活発にする	行政と関係機関が連携して文化芸術の振興に取り組む	企業が文化芸術活動への支援を活発にする	その他	無回答
全 体	51.0	59.9	49.4	7.8	4.7
男	45.5	58.5	46.3	10.3	5.3
女	56.2	61.6	51.8	6.1	3.6
20 歳 代	53.3	56.6	55.7	11.5	1.6
30 歳 代	52.4	64.7	56.5	10.0	1.2
40 歳 代	50.6	65.1	57.6	7.0	1.7
50 歳 代	54.3	63.4	50.0	6.7	3.1
60 歳 代	52.7	54.8	43.5	6.3	7.1
70歳以上	47.1	57.5	41.2	5.9	8.6
自営業・自由業	54.9	58.3	50.0	7.6	6.3
会社員・公務員	48.5	62.8	50.9	8.9	1.6
主婦・主夫	57.6	62.5	51.5	4.6	3.8
学 生	50.0	60.7	64.3	10.7	0.0
無 職	43.1	52.1	42.0	9.6	10.1
そ の 他	57.1	58.7	46.0	14.3	3.2
北 区	50.5	60.2	44.1	8.6	3.2
上 京 区	51.2	57.3	56.1	6.1	0.0
左 京 区	54.6	60.1	55.2	11.0	5.5
中 京 区	52.0	52.9	52.9	7.8	4.9
東 山 区	66.7	63.9	44.4	5.6	0.0
山 科 区	55.0	70.0	52.0	7.0	2.0
下 京 区	55.8	50.0	53.8	3.8	11.5
南 区	49.3	65.7	37.3	9.0	3.0
右 京 区	45.8	61.4	45.1	6.5	5.2
西 京 区	53.2	54.0	51.6	6.5	6.5
伏 見 区	48.6	62.9	47.6	8.6	3.8

問5 文化芸術の振興は地域を活気づけると考えられますが、あなたは、文化芸術活動によって、具体的にどのような活性化が進むと思いますか。当てはまるものすべてを選び、印を付けてください。

- 1 地域で文化的な催しや活動が行われ、住民の方々が参加することにより、地域の連帯感が強まる。 53.1%
- 2 文化的な催しや活動に、他の地域からも人が集まることにより交流が生まれ、にぎわいが生まれる。 61.3%
- 3 文化的な催しや活動が行われることにより、周辺の商店街や店舗等の集客が増加する。 44.5%
- 4 その他 5.1%
- (無回答) 4.6%

「文化的な催しや活動に、他の地域からも人が集まることにより交流が生まれ、にぎわいが生まれる」が6割

全体では、「文化的な催しや活動に、他の地域からも人が集まることにより交流が生まれ、にぎわいが生まれる」と回答された方が61.3%で最も多く、以下、「地域で文化的な催しや活動が行われ、住民の方々が参加することにより、地域の連帯感が強まる」が53.1%、「文化的な催しや活動が行われることにより、周辺の商店街や店舗等の集客が増加する」が44.5%と続いています。

図5 - 1 (全体)

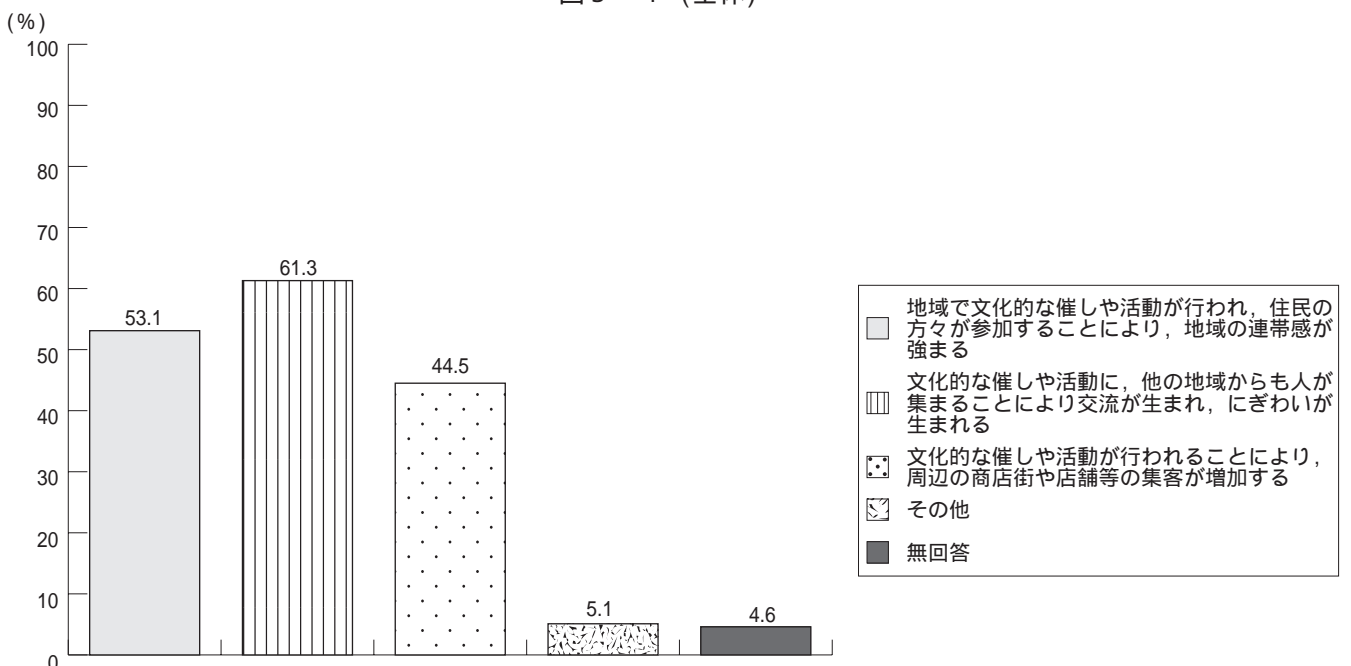
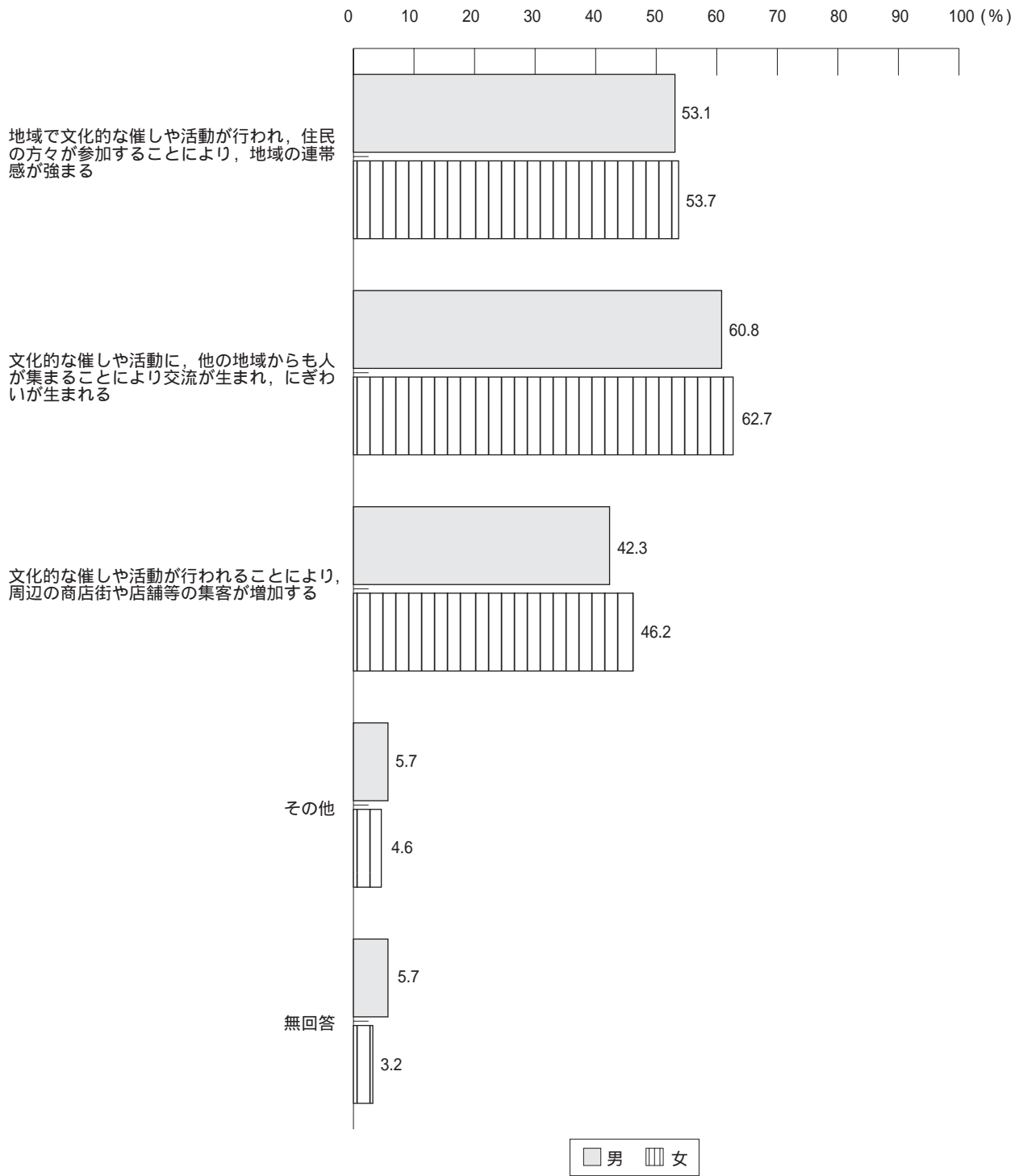


図 5 - 2 (男女別)



年代別では、「文化的な催しや活動に、他の地域からも人が集まることにより交流が生まれ、にぎわいが生まれる」と回答された方は30歳代、40歳代で多くなっています。

図5 - 3 (年代別)

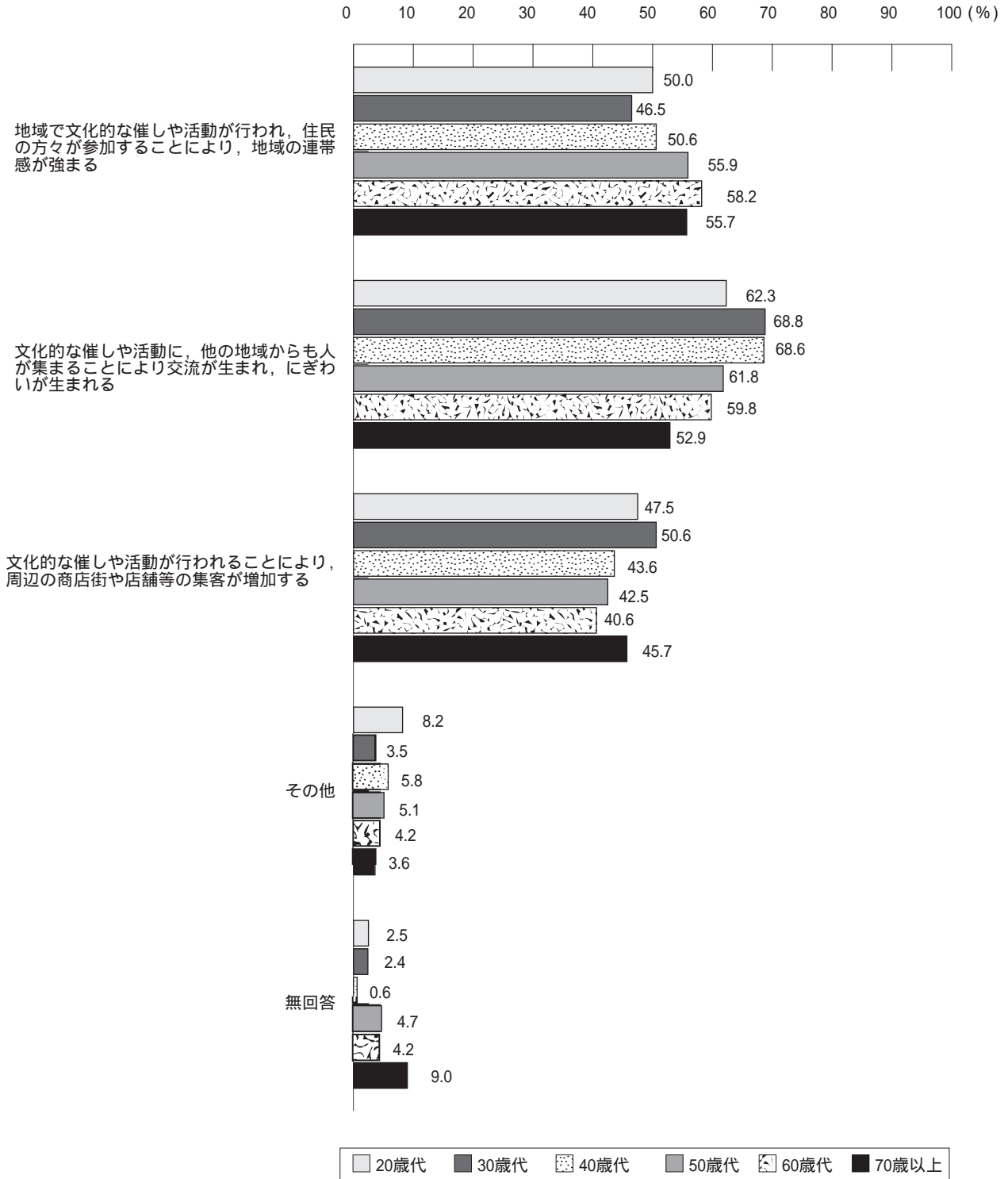


表5 - 1 (全体, 男女別, 年代別, 職業別, 行政区別)

(%)

	強 よ 方 活 地 ま る	地 域 で 文 化 的 な 催 し や 活 動 が 行 わ れ る こ と に よ り 、 住 民 の 参 加 す る こ と に よ り 、 地 域 の 連 帯 感 が 強 ま る	文 化 的 な 催 し や 活 動 に 、 他 の 地 域 か ら も 人 が 集 ま る こ と に よ り 交 流 が 生 ま れ 、 に ぎ わ い が 生 ま れ る	文 化 的 な 催 し や 活 動 が 行 わ れ る こ と に よ り 、 周 辺 の 商 店 街 や 店 舗 等 の 集 客 が 増 加 す る	そ の 他	無 回 答
全 体	53.1	61.3	44.5	5.1	4.6	
男	53.1	60.8	42.3	5.7	5.7	
女	53.7	62.7	46.2	4.6	3.2	
20 歳 代	50.0	62.3	47.5	8.2	2.5	
30 歳 代	46.5	68.8	50.6	3.5	2.4	
40 歳 代	50.6	68.6	43.6	5.8	0.6	
50 歳 代	55.9	61.8	42.5	5.1	4.7	
60 歳 代	58.2	59.8	40.6	4.2	4.2	
70歳以上	55.7	52.9	45.7	3.6	9.0	
自営業・自由業	59.0	62.5	45.1	4.9	6.3	
会社員・公務員	47.2	69.8	46.4	4.6	2.2	
主婦・主夫	55.8	58.4	43.4	4.3	3.5	
学 生	57.1	64.3	46.4	10.7	0.0	
無 職	55.3	52.7	38.8	5.3	9.0	
そ の 他	57.1	55.6	55.6	9.5	3.2	
北 区	50.5	58.1	37.6	4.3	3.2	
上 京 区	54.9	61.0	51.2	6.1	1.2	
左 京 区	58.3	61.3	42.3	6.1	4.9	
中 京 区	56.9	59.8	38.2	6.9	4.9	
東 山 区	58.3	63.9	47.2	0.0	2.8	
山 科 区	60.0	69.0	49.0	6.0	3.0	
下 京 区	51.9	53.8	48.1	0.0	5.8	
南 区	53.7	61.2	34.3	4.5	4.5	
右 京 区	45.1	57.5	45.8	5.2	5.9	
西 京 区	53.2	64.5	43.5	4.8	4.8	
伏 見 区	51.9	64.3	49.5	5.2	3.8	

【暮らしの文化の継承について】

問6 京都には、京ことば、歴史に育まれた衣食住の習慣、様々な年中行事など、京都ならではの「暮らしの文化」が受け継がれています。

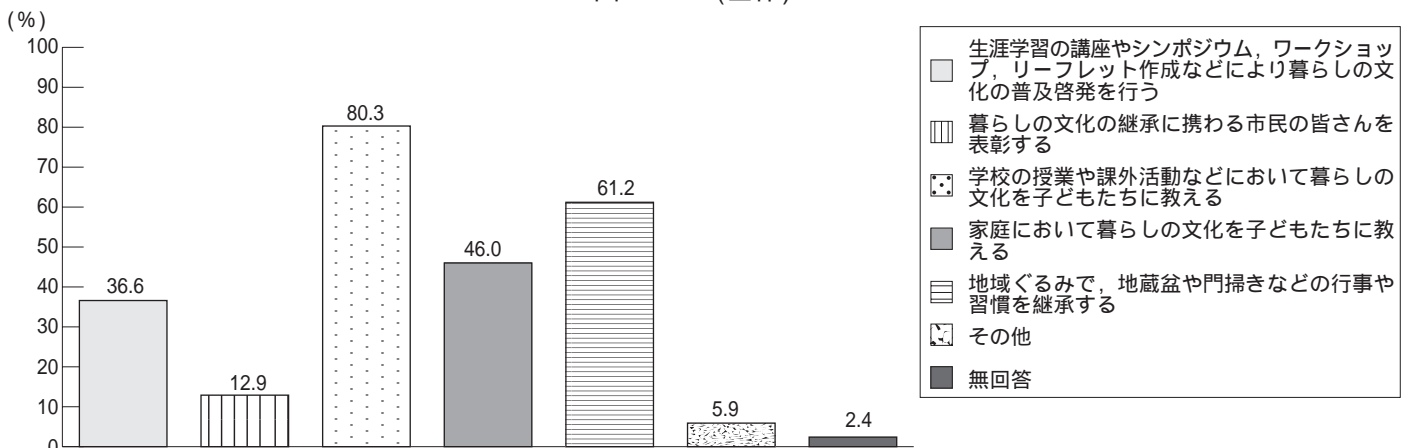
あなたは、これらの貴重な暮らしの文化を次の世代に引き継ぐために、どのような取組が必要だと思われますか。当てはまるものすべてを選び、印を付けてください。

- | | |
|---|-------|
| 1 生涯学習の講座やシンポジウム、ワークショップ、リーフレット作成
などにより暮らしの文化の普及啓発を行う。 | 36.6% |
| 2 暮らしの文化の継承に携わる市民の皆さんを表彰する。 | 12.9% |
| 3 学校の授業や課外活動などにおいて暮らしの文化を子どもたちに教える。
..... | 80.3% |
| 4 家庭において暮らしの文化を子どもたちに教える。 | 46.0% |
| 5 地域ぐるみで、地蔵盆や門掃きなどの行事や習慣を継承する。 | 61.2% |
| 6 その他 | 5.9% |
| (無回答) | 2.4% |

「学校の授業や課外活動などにおいて暮らしの文化を子どもたちに教える」が8割

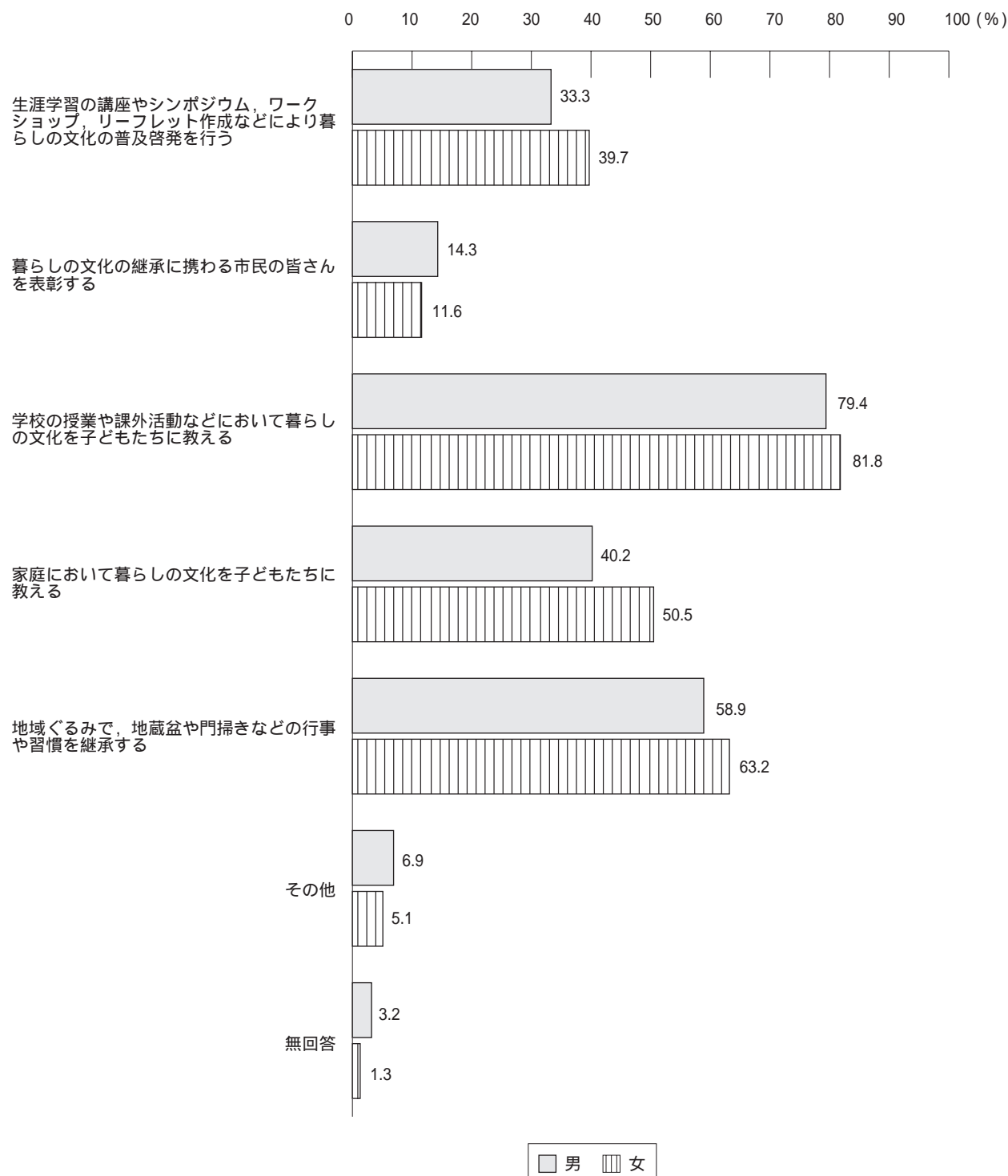
全体では、「学校の授業や課外活動などにおいて暮らしの文化を子どもたちに教える」と回答された方が80.3%で最も多く、以下、「地域ぐるみで、地蔵盆や門掃きなどの行事や習慣を継承する」が61.2%、「家庭において暮らしの文化を子どもたちに教える」が46.0%、「生涯学習の講座やシンポジウム、ワークショップ、リーフレット作成などにより暮らしの文化の普及啓発を行う」が36.6%、「暮らしの文化の継承に携わる市民の皆さんを表彰する」が12.9%と続いています。

図6-1 (全体)



男女別では、「暮らしの文化の継承に携わる市民の皆さんを表彰する」と回答された方は、男性が上回っています。

図6 - 2 (男女別)



年代別では、「学校の授業や課外活動などにおいて暮らしの文化を子どもたちに教える」と回答された方は、30歳代で多くなっています。

図6-3 (年代別)

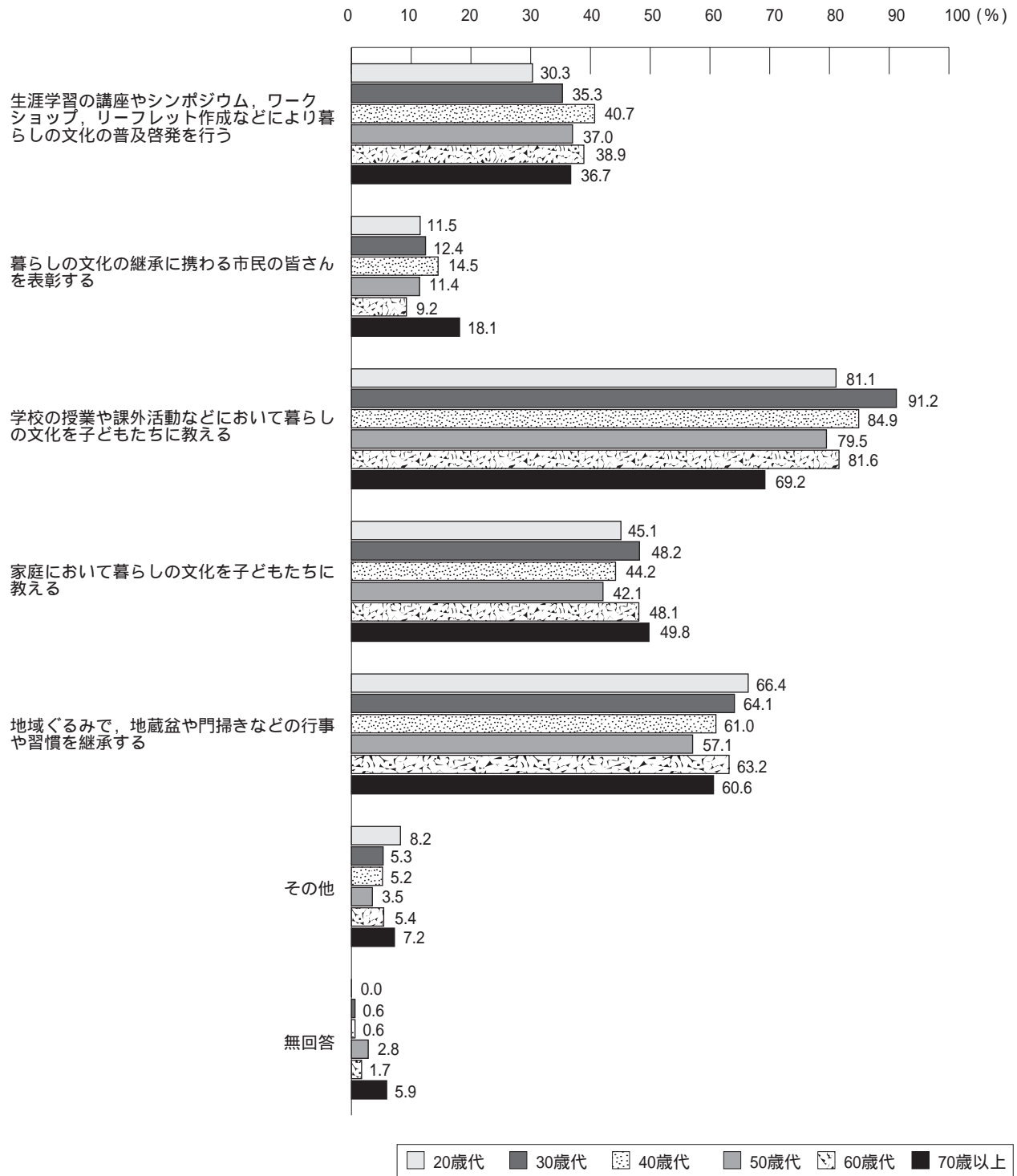


表6 - 1 (全体, 男女別, 年代別, 職業別, 行政区別)

(%)

	生涯学習の講座やシンポジウム、ワークショップ、リーフレット作成などにより暮らしの文化の普及啓発を行う	暮らしの文化の継承に携わる市民の皆さんを表彰する	学校の授業や課外活動などにおいて暮らしの文化を子どもたちに教える	家庭において暮らしの文化を子どもたちに教える	地域ぐるみで、地蔵盆や門掃きなどの行事や習慣を継承する	その他	無回答
全 体	36.6	12.9	80.3	46.0	61.2	5.9	2.4
男	33.3	14.3	79.4	40.2	58.9	6.9	3.2
女	39.7	11.6	81.8	50.5	63.2	5.1	1.3
20 歳 代	30.3	11.5	81.1	45.1	66.4	8.2	0.0
30 歳 代	35.3	12.4	91.2	48.2	64.1	5.3	0.6
40 歳 代	40.7	14.5	84.9	44.2	61.0	5.2	0.6
50 歳 代	37.0	11.4	79.5	42.1	57.1	3.5	2.8
60 歳 代	38.9	9.2	81.6	48.1	63.2	5.4	1.7
70歳以上	36.7	18.1	69.2	49.8	60.6	7.2	5.9
自営業・自由業	31.3	18.1	81.9	51.4	63.9	5.6	2.1
会社員・公務員	33.2	12.4	83.6	44.5	63.6	5.1	1.3
主婦・主夫	42.6	10.7	82.3	48.0	61.7	4.6	1.1
学 生	32.1	10.7	78.6	46.4	57.1	14.3	0.0
無 職	36.2	13.8	69.1	39.9	54.3	8.0	7.4
そ の 他	41.3	12.7	82.5	47.6	63.5	9.5	0.0
北 区	37.6	9.7	77.4	43.0	58.1	8.6	1.1
上 京 区	36.6	18.3	87.8	67.1	73.2	6.1	1.2
左 京 区	43.6	13.5	77.9	41.1	60.1	8.0	3.7
中 京 区	37.3	11.8	70.6	46.1	59.8	7.8	2.9
東 山 区	38.9	11.1	75.0	55.6	63.9	2.8	0.0
山 科 区	36.0	13.0	86.0	49.0	58.0	3.0	1.0
下 京 区	34.6	9.6	84.6	50.0	71.2	1.9	0.0
南 区	34.3	11.9	71.6	43.3	62.7	7.5	3.0
右 京 区	32.0	14.4	84.3	47.7	61.4	2.6	3.3
西 京 区	33.9	11.3	81.5	41.9	63.7	8.1	1.6
伏 見 区	37.6	12.9	82.4	41.4	57.6	5.7	2.4

【伝統文化の継承について】

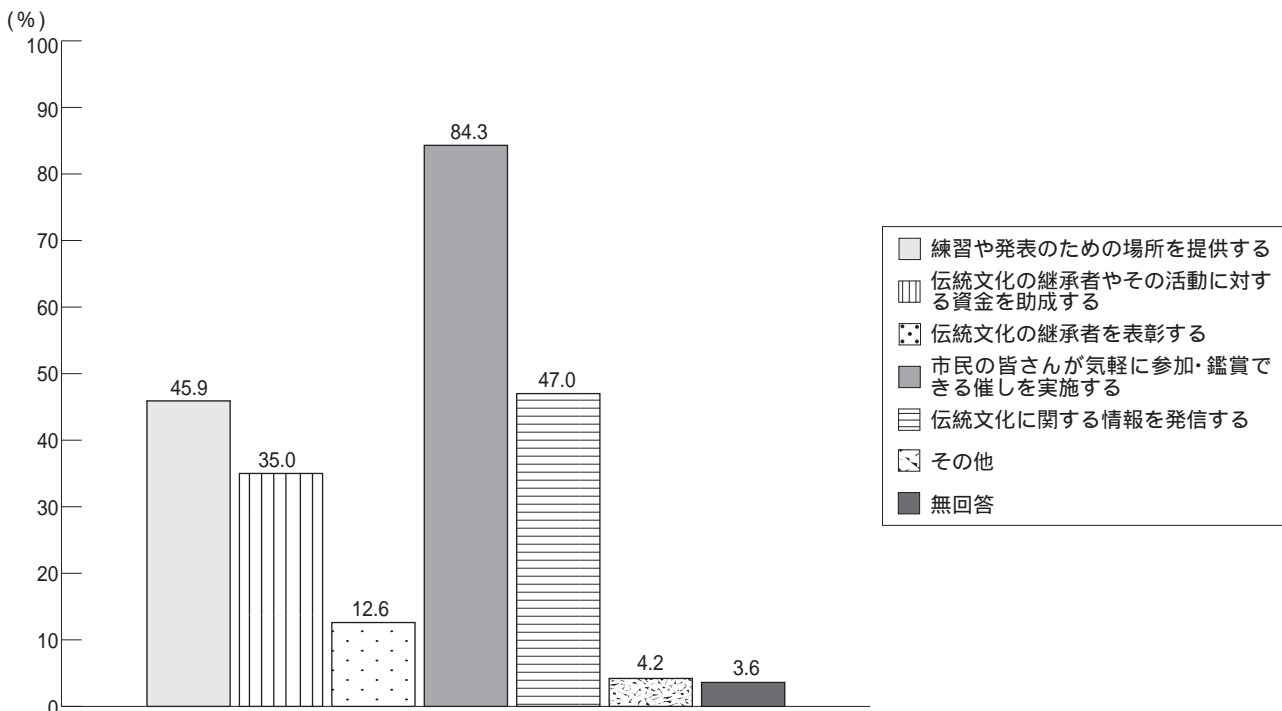
問7 能，狂言，茶道，華道などの伝統文化を保存し，次世代に継承するため，あなたは，どのような取組が必要だと思いますか。当てはまるものすべてを選び，印を付けてください。

1 練習や発表のための場所を提供する。	45.9%
2 伝統文化の継承者やその活動に対する資金を助成する。	35.0%
3 伝統文化の継承者を表彰する。	12.6%
4 市民の皆さんが気軽に参加・鑑賞できる催しを実施する。	84.3%
5 伝統文化に関する情報を発信する。	47.0%
6 その他	4.2%
(無回答)	3.6%

「市民の皆さんが気軽に参加・鑑賞できる催しを実施する」が8割以上

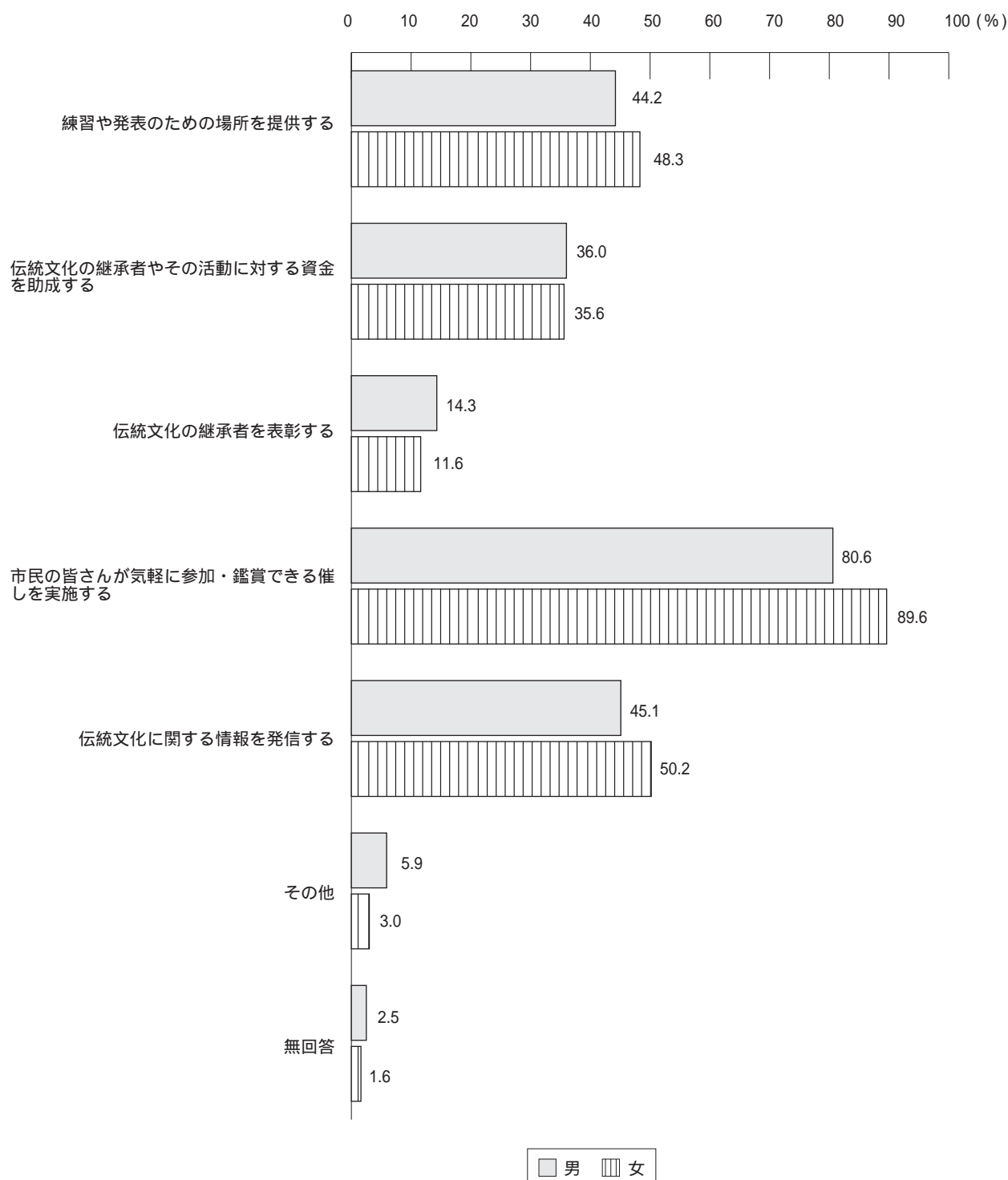
全体では，「市民の皆さんが気軽に参加・鑑賞できる催しを実施する」と回答された方が84.3%で最も多く，以下，「伝統文化に関する情報を発信する」が47.0%，「練習や発表のための場所を提供する」が45.9%，「伝統文化の継承者やその活動に対する資金を助成する」が35.0%，「伝統文化の継承者を表彰する」が12.6%と続いています。

図7-1 (全体)



男女別では、「伝統文化の継承者を表彰する」は男性が上回っていますが、「練習や発表のための場所を提供する」「市民の皆さんが気軽に参加・鑑賞できる催しを実施する」「伝統文化に関する情報を発信する」は女性が上回っています。

図7 - 2 (男女別)



年代別では、「練習や発表のための場所を提供する」と回答された方は20歳代と40歳代で半数を超えており、また「伝統文化に関する情報を発信する」と回答された方は30歳代から50歳代で半数を超えています。

図 7 - 3 (年代別)

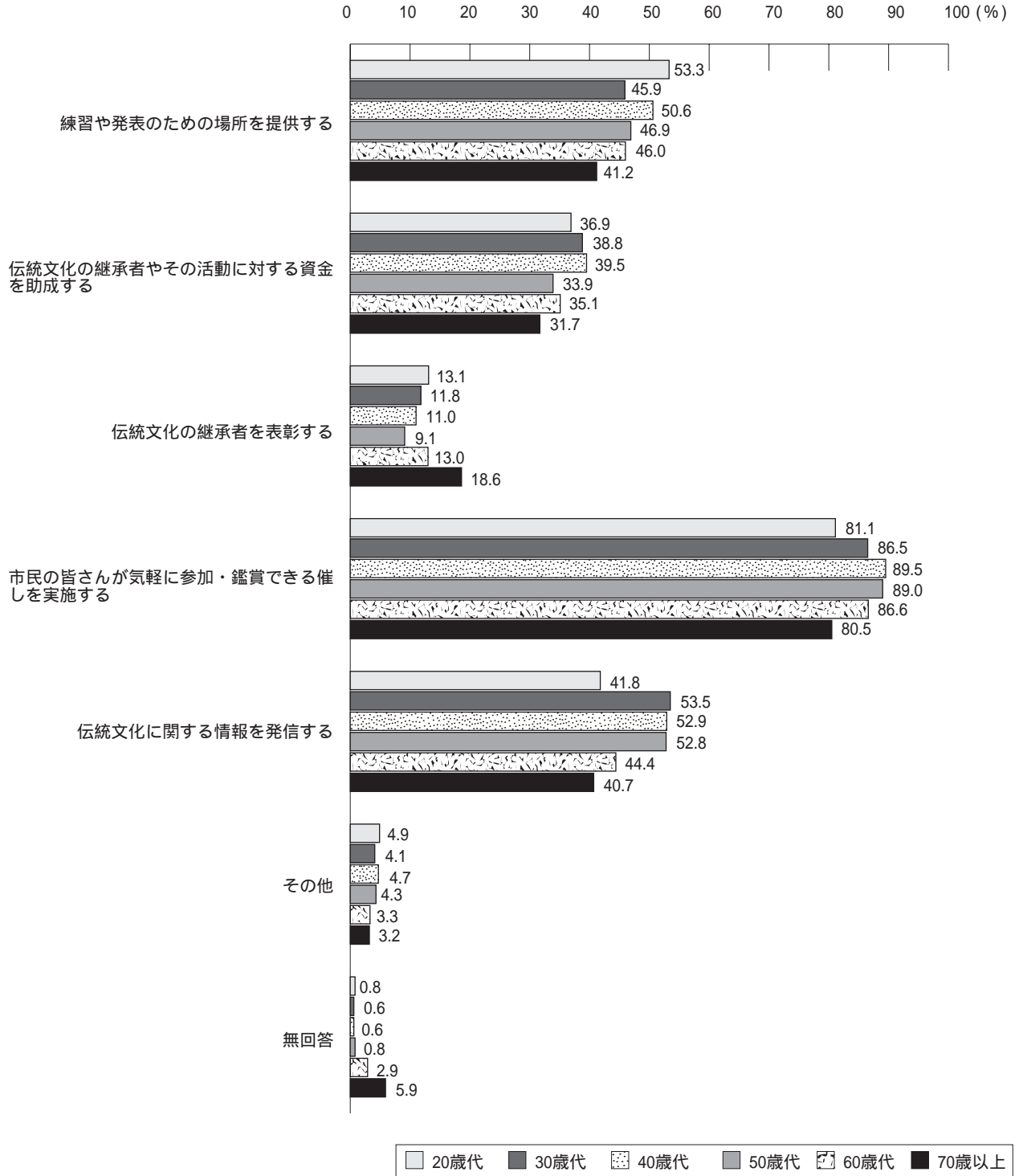


表7 - 1 (全体, 男女別, 年代別, 職業別, 行政区別)

(%)

	練習や発表のための場を提供する	伝統文化の継承者やその活動に対する資金を助成する	伝統文化の継承者を表彰する	市民の皆さんが気軽に参加・鑑賞できる催しを実施する	伝統文化に関する情報を発信する	その他	無回答
全体	45.9	35.0	12.6	84.3	47.0	4.2	3.6
男	44.2	36.0	14.3	80.6	45.1	5.9	2.5
女	48.3	35.6	11.6	89.6	50.2	3.0	1.6
20歳代	53.3	36.9	13.1	81.1	41.8	4.9	0.8
30歳代	45.9	38.8	11.8	86.5	53.5	4.1	0.6
40歳代	50.6	39.5	11.0	89.5	52.9	4.7	0.6
50歳代	46.9	33.9	9.1	89.0	52.8	4.3	0.8
60歳代	46.0	35.1	13.0	86.6	44.4	3.3	2.9
70歳以上	41.2	31.7	18.6	80.5	40.7	3.2	5.9
自営業・自由業	50.0	39.6	19.4	81.3	47.9	6.3	2.8
会社員・公務員	45.3	37.2	12.9	86.8	49.1	3.8	0.5
主婦・主夫	50.7	32.4	8.8	92.0	49.6	2.7	1.9
学生	46.4	42.9	10.7	67.9	42.9	7.1	0.0
無職	36.2	33.5	14.9	76.6	41.5	5.9	6.4
その他	57.1	36.5	12.7	85.7	49.2	4.8	0.0
北区	47.3	30.1	9.7	84.9	52.7	3.2	0.0
上京区	51.2	46.3	12.2	90.2	47.6	7.3	0.0
左京区	46.6	43.6	10.4	83.4	52.8	4.9	3.7
中京区	46.1	36.3	16.7	86.3	42.2	3.9	2.0
東山区	44.4	41.7	13.9	77.8	38.9	2.8	0.0
山科区	56.0	35.0	16.0	95.0	52.0	1.0	1.0
下京区	40.4	36.5	9.6	86.5	50.0	1.9	1.9
南区	34.3	23.9	14.9	82.1	38.8	7.5	3.0
右京区	47.1	30.1	15.0	86.3	41.8	2.6	3.3
西京区	48.4	37.1	9.7	83.1	53.2	3.2	2.4
伏見区	44.8	32.4	12.9	84.8	47.1	6.2	2.4

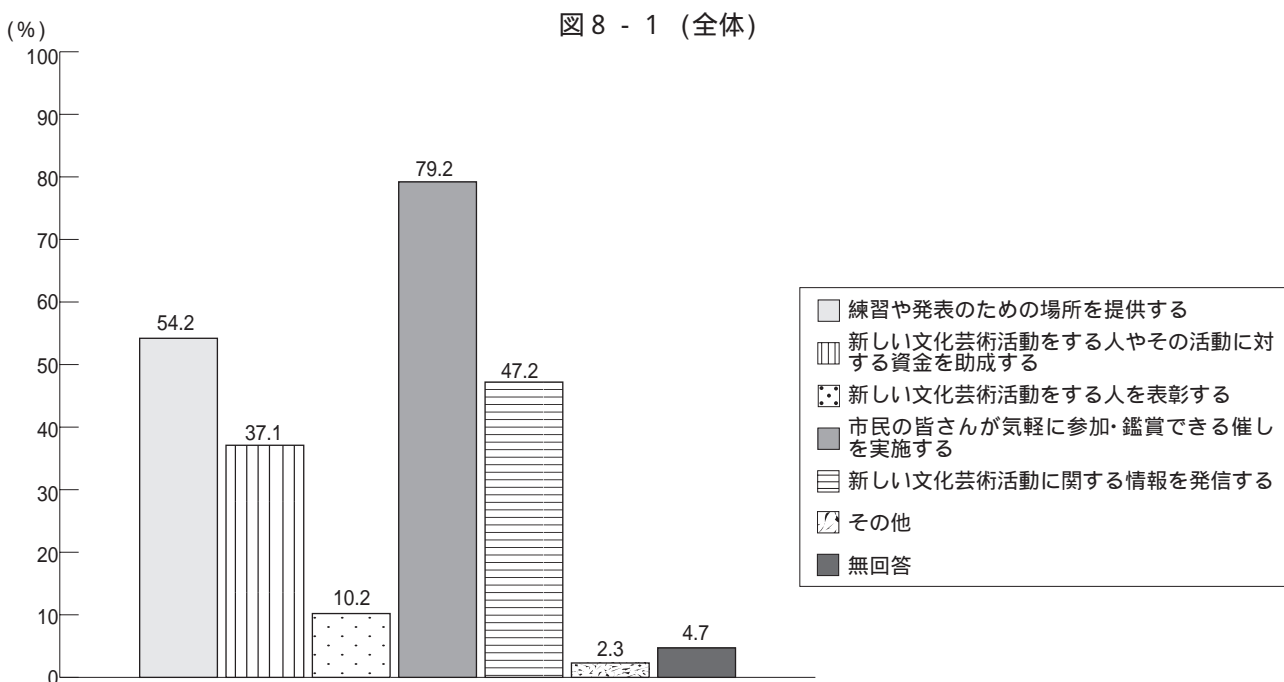
【新しい文化芸術活動の活性化について】

問8 現代美術や演劇などの新しい文化芸術活動をより活発にするため、あなたは、どのような取組が必要だと思えますか。当てはまるものすべてを選び、印を付けてください。

- | | |
|---|-------|
| 1 練習や発表のための場所を提供する。 | 54.2% |
| 2 新しい文化芸術活動をする人やその活動に対する資金を助成する。
..... | 37.1% |
| 3 新しい文化芸術活動をする人を表彰する。 | 10.2% |
| 4 市民の皆さんが気軽に参加・鑑賞できる催しを実施する。 | 79.2% |
| 5 新しい文化芸術活動に関する情報を発信する。 | 47.2% |
| 6 その他 | 2.3% |
| (無回答) | 4.7% |

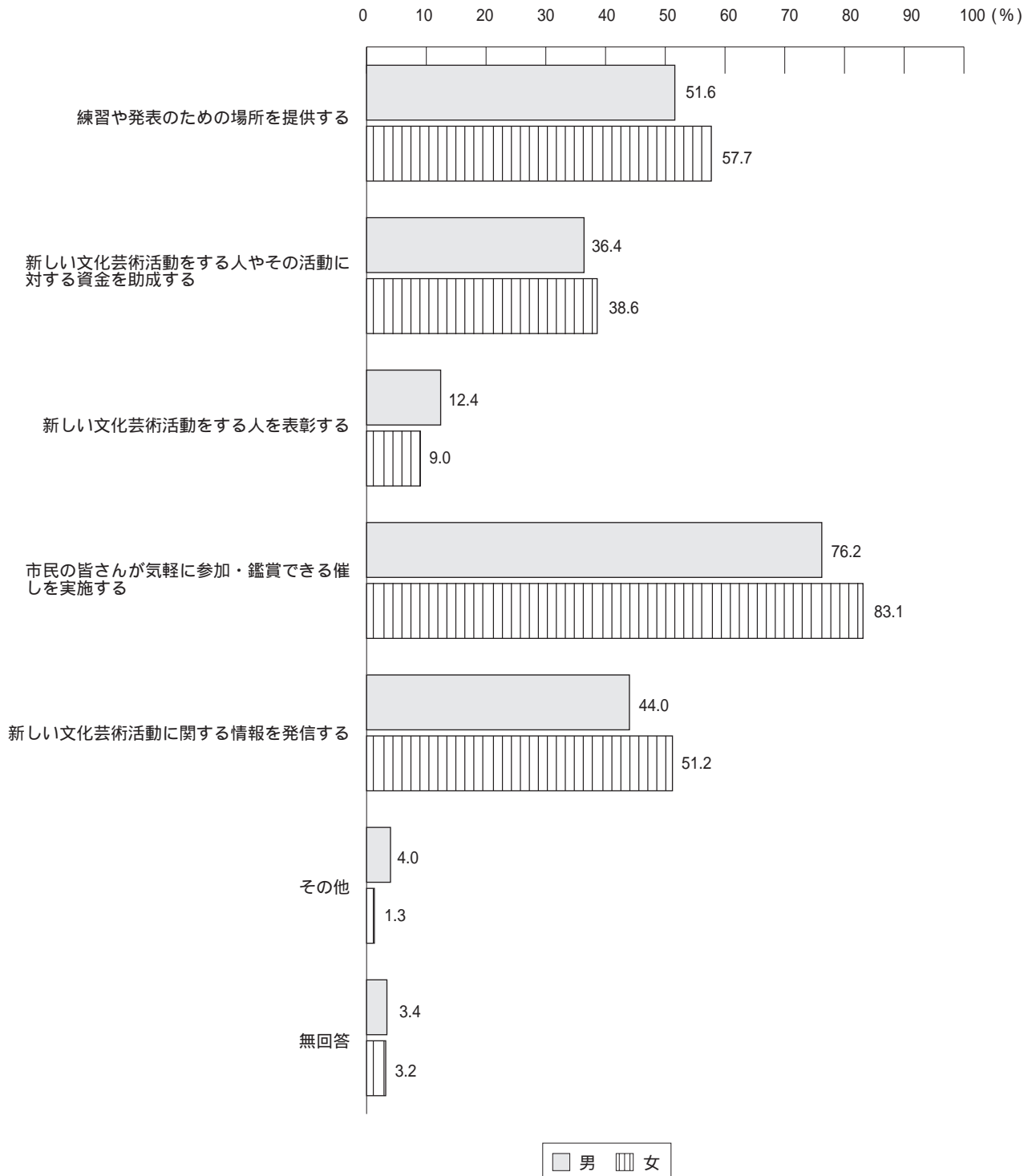
「市民の皆さんが気軽に参加・鑑賞できる催しを実施する」が8割

全体では、「市民の皆さんが気軽に参加・鑑賞できる催しを実施する」と回答された方が79.2%で最も多く、以下、「練習や発表のための場所を提供する」が54.2%、「新しい文化芸術活動に関する情報を発信する」が47.2%、「新しい文化芸術活動をする人やその活動に対する資金を助成する」が37.1%、「新しい文化芸術活動をする人を表彰する」が10.2%と続いています。



男女別では、「新しい文化芸術活動をする人を表彰する」は男性が上回り、「練習や発表のための場所を提供する」「新しい文化芸術活動をする人やその活動に対する資金を助成する」「市民の皆さんが気軽に参加・鑑賞できる催しを実施する」「新しい文化芸術活動に関する情報を発信する」は女性が上回っています。

図8 - 2 (男女別)



年代別では、「練習や発表のための場所を提供する」と回答された方は、40歳代以下の低い年代で多く、「新しい文化芸術活動をする人やその活動に対する資金を助成する」は40歳代で多くなっています。

図8-3 (年代別)

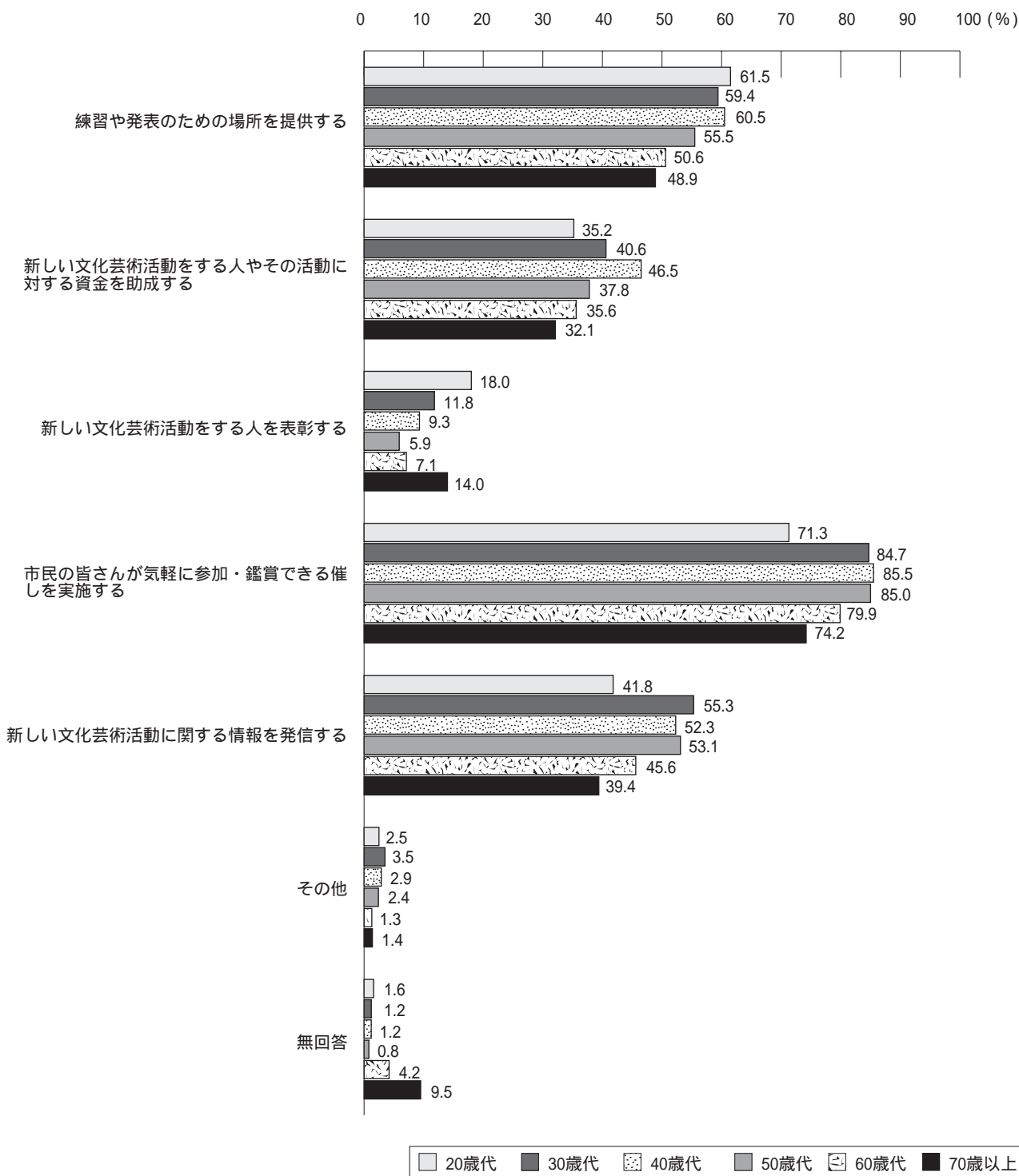


表8 - 1 (全体, 男女別, 年代別, 職業別, 行政区別)

(%)

	練習や発表のための場 所を提供する	新しい文化芸術活動をする 人やその活動に対する 資金を助成する	新しい文化芸術活動をする 人を表彰する	市民の皆さんが気軽に 参加・鑑賞できる催し を実施する	新しい文化芸術活動に 関する情報を発信する	その他	無回答
全 体	54.2	37.1	10.2	79.2	47.2	2.3	4.7
男	51.6	36.4	12.4	76.2	44.0	4.0	3.4
女	57.7	38.6	9.0	83.1	51.2	1.3	3.2
20 歳 代	61.5	35.2	18.0	71.3	41.8	2.5	1.6
30 歳 代	59.4	40.6	11.8	84.7	55.3	3.5	1.2
40 歳 代	60.5	46.5	9.3	85.5	52.3	2.9	1.2
50 歳 代	55.5	37.8	5.9	85.0	53.1	2.4	0.8
60 歳 代	50.6	35.6	7.1	79.9	45.6	1.3	4.2
70歳以上	48.9	32.1	14.0	74.2	39.4	1.4	9.5
自営業・自由業	54.2	43.8	15.3	77.1	48.6	5.6	4.9
会社員・公務員	53.9	38.5	10.2	80.6	47.4	2.7	1.1
主婦・主夫	57.4	38.6	5.9	85.8	51.7	0.5	3.8
学 生	57.1	17.9	25.0	71.4	32.1	3.6	0.0
無 職	48.9	33.5	11.7	73.9	41.0	2.7	6.9
そ の 他	65.1	36.5	11.1	74.6	50.8	3.2	1.6
北 区	57.0	33.3	4.3	84.9	51.6	1.1	0.0
上 京 区	59.8	48.8	13.4	86.6	50.0	4.9	0.0
左 京 区	57.7	42.3	9.2	76.7	54.6	0.6	5.5
中 京 区	52.9	34.3	12.7	77.5	46.1	2.0	3.9
東 山 区	55.6	44.4	16.7	69.4	36.1	2.8	2.8
山 科 区	62.0	42.0	15.0	87.0	53.0	2.0	1.0
下 京 区	59.6	38.5	9.6	78.8	55.8	0.0	3.8
南 区	47.8	22.4	14.9	80.6	43.3	3.0	4.5
右 京 区	52.9	34.0	9.8	83.0	34.0	2.0	3.9
西 京 区	57.3	41.9	9.7	83.1	48.4	4.0	3.2
伏 見 区	49.5	34.8	7.6	75.7	50.0	3.3	4.3

【国内外との文化芸術交流について】

問9 国内外の他の地域との文化芸術交流を活発にするため、あなたは、どのような取組が必要だと思いますか。当てはまるものすべてを選び、印を付けてください。

- | | |
|--|-------|
| 1 国際的な音楽祭や映画祭などを開催する。 | 49.3% |
| 2 関係機関と連携して海外の文化芸術活動を市民の皆さんに紹介したり、
京都の文化芸術を海外に発信する。 | 61.5% |
| 3 京都の芸術家を他の地域へ派遣したり、国内外の芸術家を京都へ招く。
..... | 47.2% |
| 4 その他 | 3.4% |
| (無回答) | 6.6% |

「関係機関と連携して海外の文化芸術活動を市民の皆さんに紹介したり、京都の文化芸術を海外に発信する」が6割

全体では、「関係機関と連携して海外の文化芸術活動を市民の皆さんに紹介したり、京都の文化芸術を海外に発信する」と回答された方が61.5%で最も多く、以下、「国際的な音楽祭や映画祭などを開催する」が49.3%、「京都の芸術家を他の地域へ派遣したり、国内外の芸術家を京都へ招く」が47.2%と続いています。

図9 - 1 (全体)

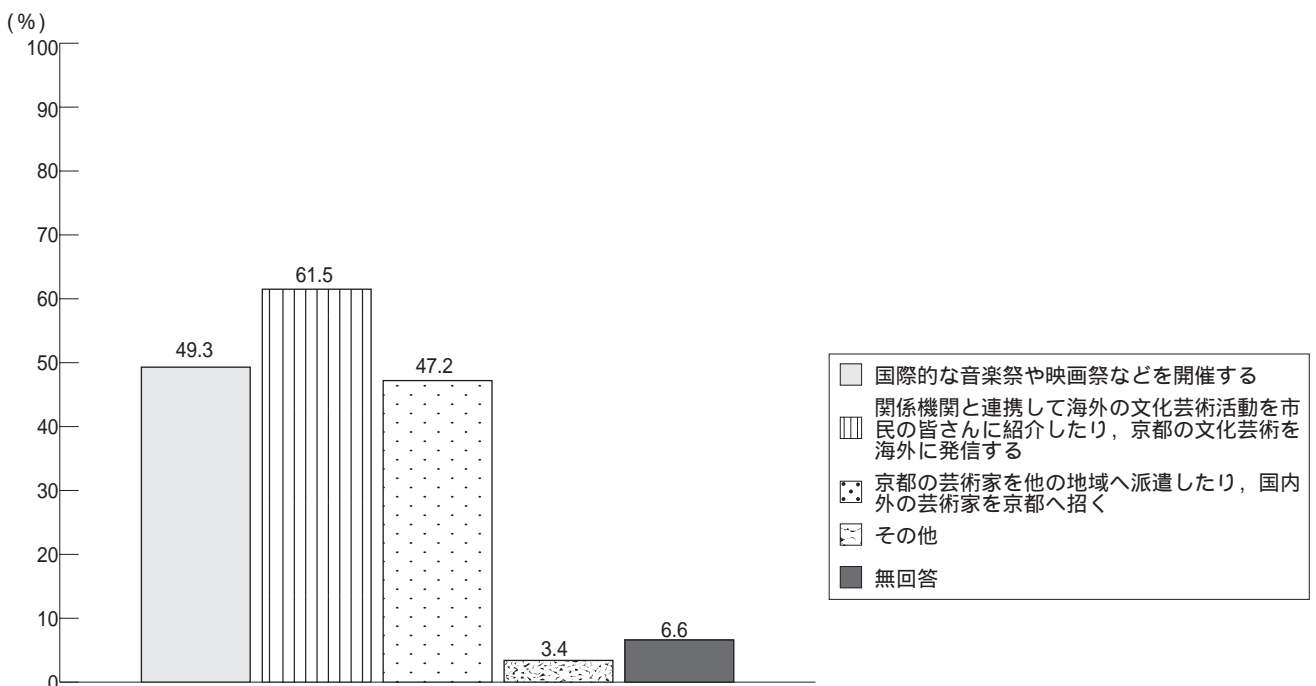
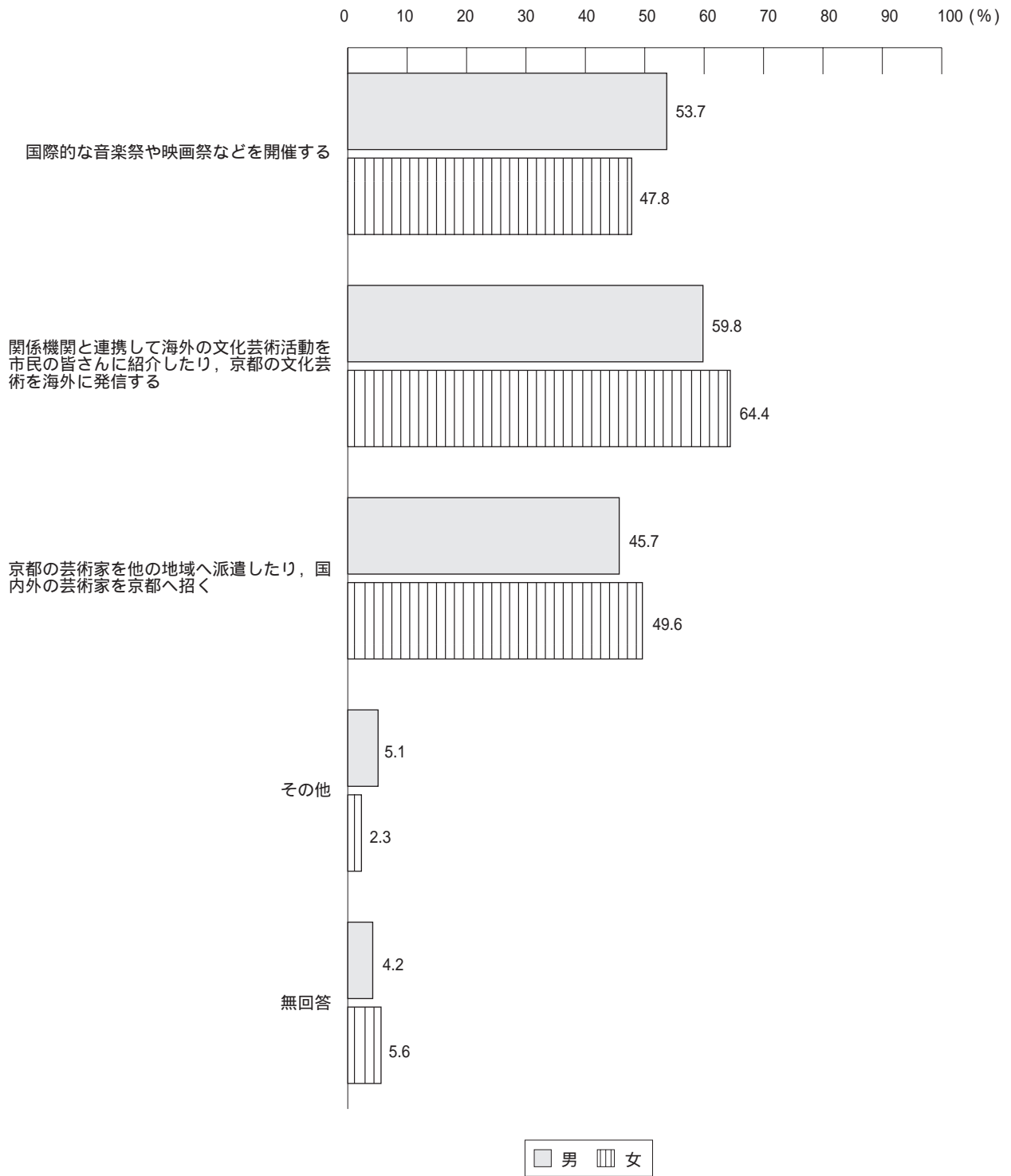


図9 - 2 (男女別)



年代別では、「国際的な音楽祭や映画祭などを開催する」と回答された方は40歳代で多くなっています。

図9 - 3 (年代別)

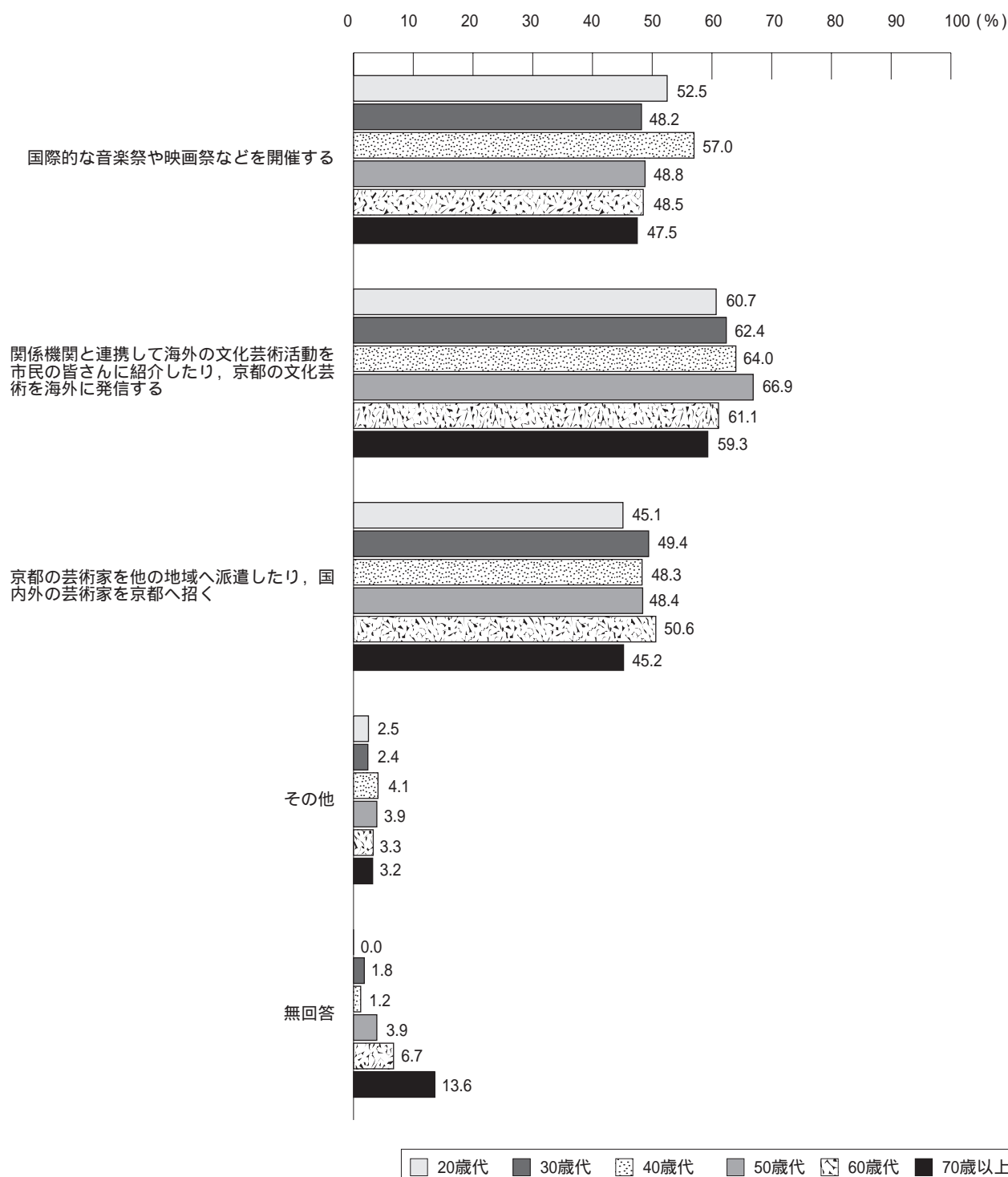


表9 - 1 (全体, 男女別, 年代別, 職業別, 行政区別)

(%)

	国際的な音楽祭や映画祭などを開催する	関係機関と連携して海外の文化芸術活動を市民の皆さんに紹介したり、京都の文化芸術を海外に発信する	京都の芸術家を他の地域へ派遣したり、国内外の芸術家を京都へ招く	その他	無回答
全体	49.3	61.5	47.2	3.4	6.6
男	53.7	59.8	45.7	5.1	4.2
女	47.8	64.4	49.6	2.3	5.6
20歳代	52.5	60.7	45.1	2.5	0.0
30歳代	48.2	62.4	49.4	2.4	1.8
40歳代	57.0	64.0	48.3	4.1	1.2
50歳代	48.8	66.9	48.4	3.9	3.9
60歳代	48.5	61.1	50.6	3.3	6.7
70歳以上	47.5	59.3	45.2	3.2	13.6
自営業・自由業	55.6	60.4	52.1	3.5	7.6
会社員・公務員	49.3	61.5	48.5	3.8	1.6
主婦・主夫	46.9	64.9	47.7	1.9	6.2
学生	53.6	71.4	32.1	3.6	0.0
無職	51.1	61.2	44.7	5.3	9.6
その他	55.6	61.9	49.2	4.8	3.2
北区	52.7	60.2	46.2	7.5	2.2
上京区	54.9	63.4	54.9	4.9	2.4
左京区	46.6	59.5	51.5	3.7	8.0
中京区	43.1	65.7	47.1	2.0	6.9
東山区	47.2	69.4	50.0	2.8	0.0
山科区	52.0	70.0	51.0	4.0	4.0
下京区	59.6	69.2	40.4	0.0	1.9
南区	47.8	56.7	31.3	4.5	6.0
右京区	49.0	61.4	50.3	2.6	7.2
西京区	46.0	62.9	49.2	2.4	6.5
伏見区	53.8	60.0	46.2	3.3	4.3

【文化芸術と産業との連携強化について】

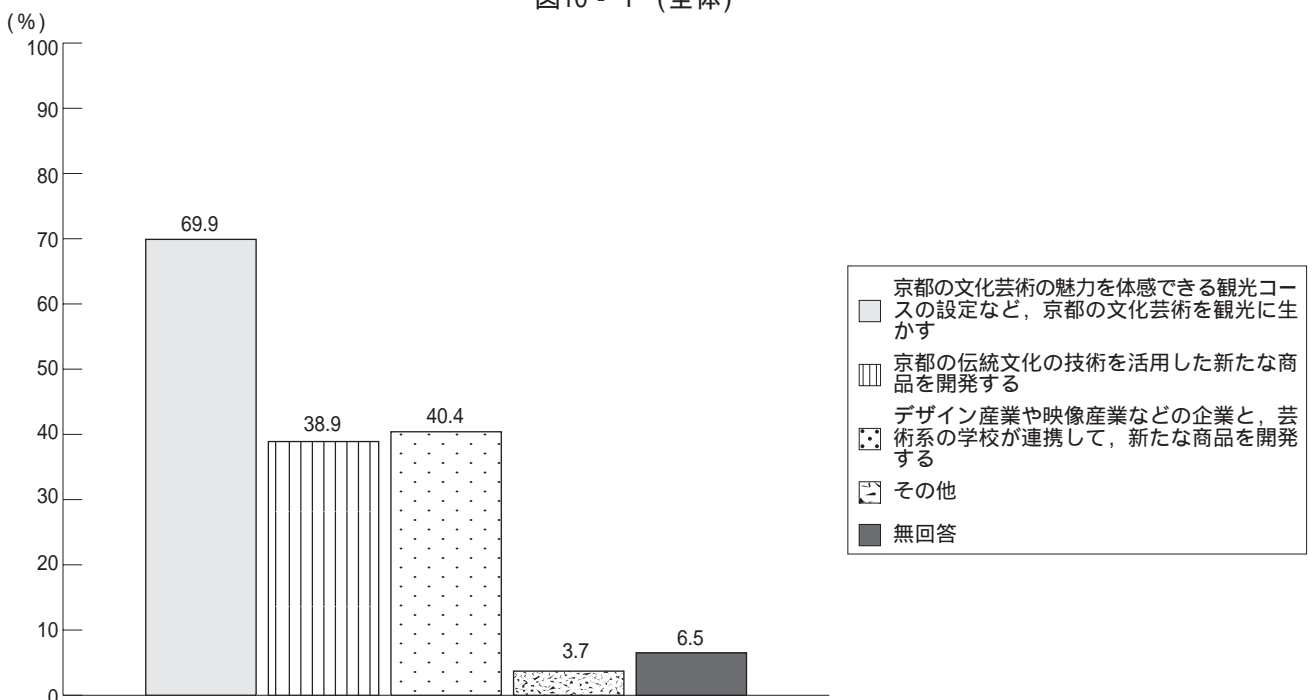
問10 文化芸術と産業とが連携し、ともに発展していくため、あなたはどのような取組が必要だと思いますか。当てはまるものすべてを選び、印を付けてください。

- | | |
|--|-------|
| 1 京都の文化芸術の魅力を感じることができる観光コースの設定など、京都の文化芸術を観光に生かす。 | 69.9% |
| 2 京都の伝統文化の技術を活用した新たな商品を開発する。 | 38.9% |
| 3 デザイン産業や映像産業などの企業と、芸術系の学校が連携して、新たな商品を開発する。 | 40.4% |
| 4 その他 | 3.7% |
| (無回答) | 6.5% |

「京都の文化芸術の魅力を感じることができる観光コースの設定など、京都の文化芸術を観光に生かす」が7割

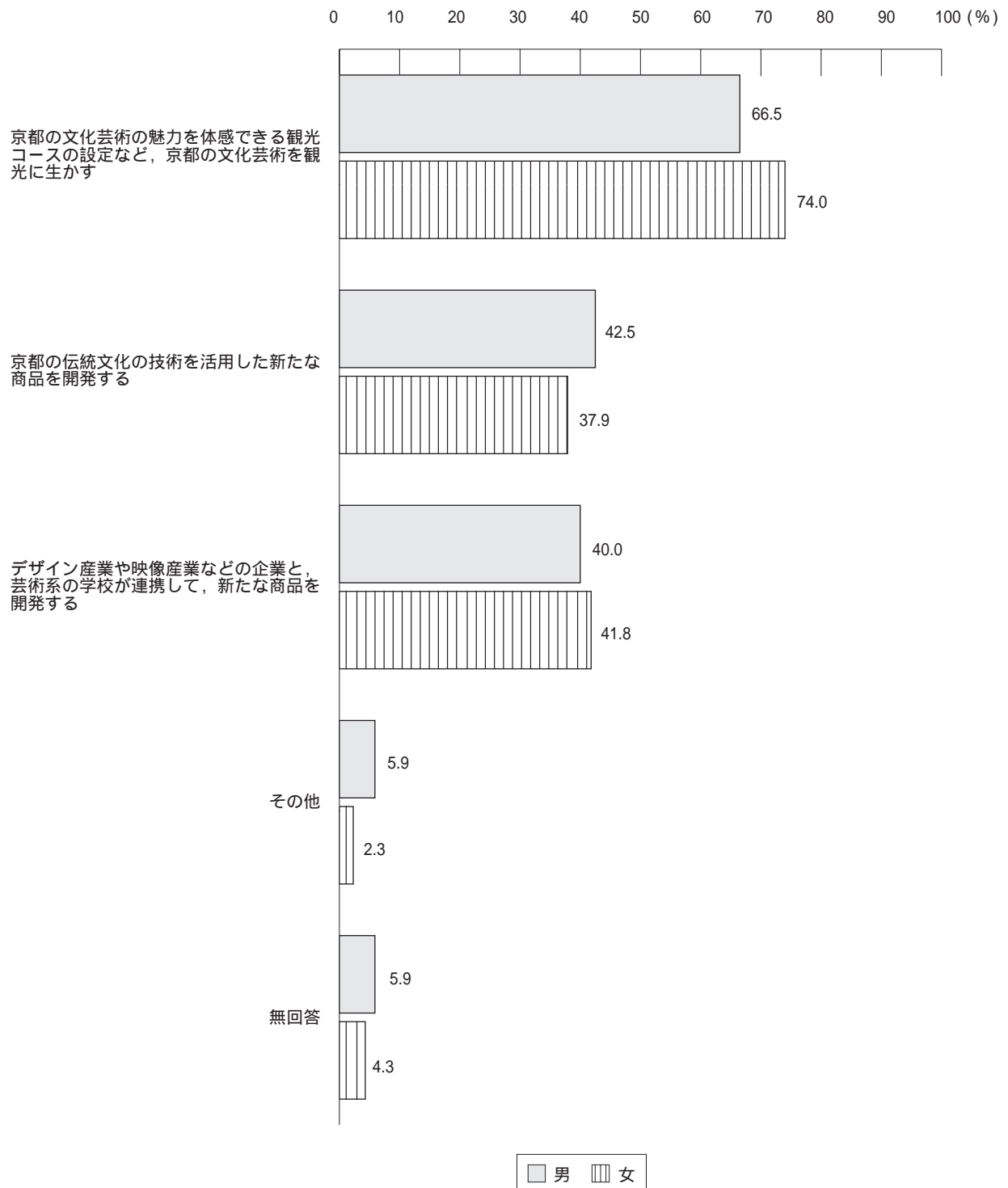
全体では、「京都の文化芸術の魅力を感じることができる観光コースの設定など、京都の文化芸術を観光に生かす」と回答された方が69.9%で最も多く、以下、「デザイン産業や映像産業などの企業と、芸術系の学校が連携して、新たな商品を開発する」が40.4%、「京都の伝統文化の技術を活用した新たな商品を開発する」が38.9%と続いています。

図10 - 1 (全体)



男女別では、「京都の伝統文化の技術を活用した新たな商品を開発する」と回答された方は、男性が多くなっていますが、「京都の文化芸術の魅力を感じることができる観光コースの設定など、京都の文化芸術を観光に生かす」「デザイン産業や映像産業などの企業と、芸術系の学校が連携して、新たな商品を開発する」と回答された方は、女性が多くなっています。

図10 - 2 (男女別)



年代別では、「デザイン産業や映像産業などの企業と、芸術系の学校が連携して、新たな商品を開発する」と回答された方は、40歳代で多くなっています。

図10 - 3 (年代別)

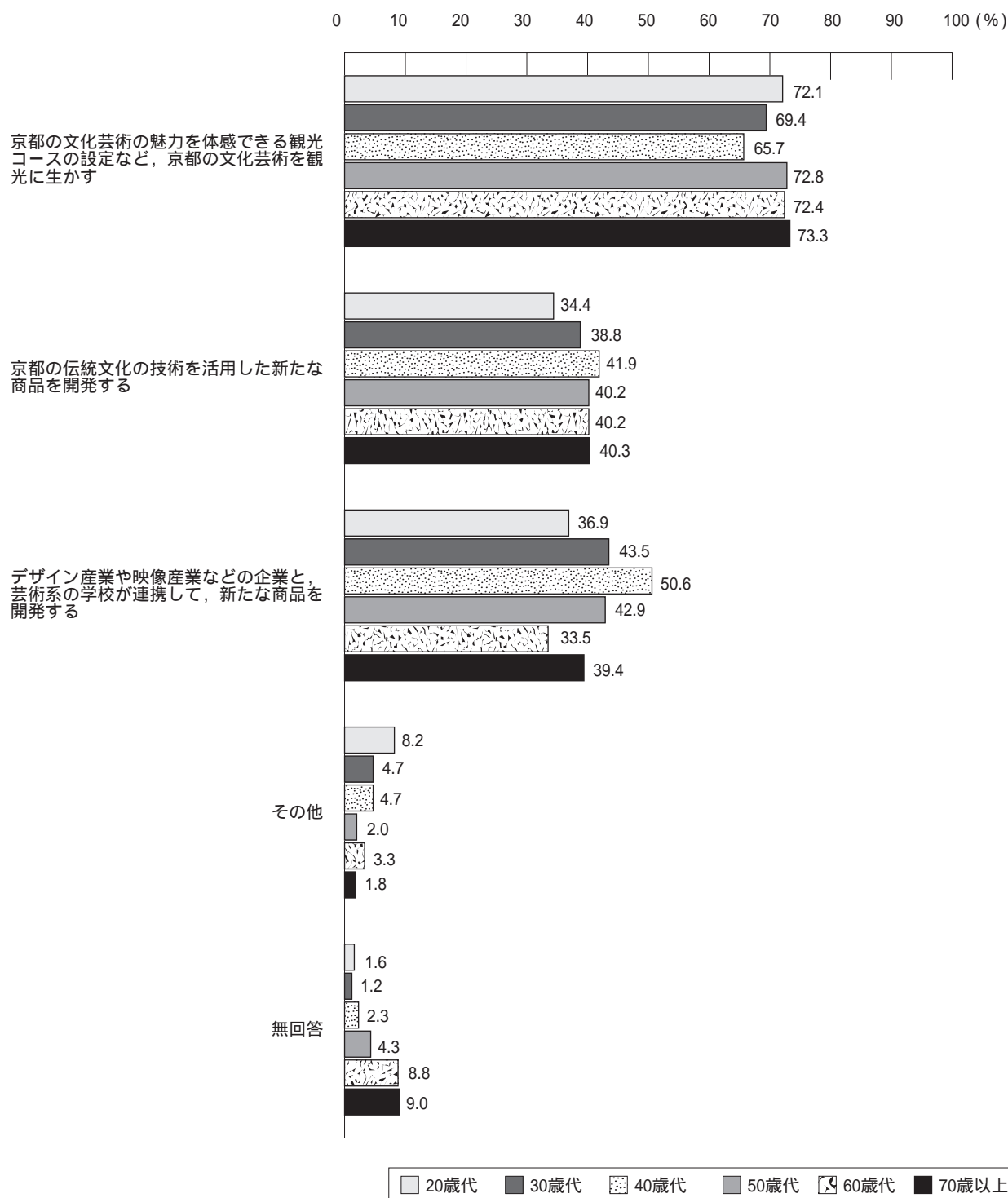


表10 - 1 (全体, 男女別, 年代別, 職業別, 行政区別)

(%)

	京都の文化芸術の魅力 を体感できる観光コ アの設定など、京都の 文化芸術を観光に生か す	京都の伝統文化の技術 を活用した新たな商品 を開発する	デザイン産業や映像産 業などの企業と、芸術 系の学校が連携して、 新たな商品を開発する	その他	無回答
全 体	69.9	38.9	40.4	3.7	6.5
男	66.5	42.5	40.0	5.9	5.9
女	74.0	37.9	41.8	2.3	4.3
20 歳 代	72.1	34.4	36.9	8.2	1.6
30 歳 代	69.4	38.8	43.5	4.7	1.2
40 歳 代	65.7	41.9	50.6	4.7	2.3
50 歳 代	72.8	40.2	42.9	2.0	4.3
60 歳 代	72.4	40.2	33.5	3.3	8.8
70歳以上	73.3	40.3	39.4	1.8	9.0
自営業・自由業	64.6	42.4	46.5	6.3	9.7
会社員・公務員	69.3	41.0	41.8	4.0	2.4
主婦・主夫	74.5	37.5	39.7	1.3	4.0
学 生	71.4	35.7	32.1	14.3	0.0
無 職	70.7	39.4	34.0	3.7	10.6
そ の 他	79.4	38.1	49.2	6.3	3.2
北 区	73.1	31.2	43.0	6.5	3.2
上 京 区	70.7	52.4	46.3	3.7	1.2
左 京 区	64.4	33.1	42.9	5.5	9.8
中 京 区	66.7	38.2	38.2	5.9	7.8
東 山 区	66.7	47.2	27.8	2.8	0.0
山 科 区	77.0	53.0	40.0	2.0	4.0
下 京 区	75.0	44.2	44.2	1.9	3.8
南 区	71.6	40.3	37.3	4.5	4.5
右 京 区	74.5	38.6	39.9	1.3	5.2
西 京 区	66.9	37.9	36.3	4.0	7.3
伏 見 区	73.8	36.2	44.3	3.3	2.9

問11 ご意見・ご要望がありましたら、お書きください。

いただいたご意見のうちいくつかを要約し、年代ごとに分けて紹介します。

20歳代

(男性)

- ・新旧を含めた映画祭を実行してほしい。
- ・よほどの関心がない限り、伝統芸能などの文化芸術活動に触れる時間は取れないと思う。子どもの時から文化芸術に慣れ親しむ環境づくりが必要。
- ・京都に対して文化芸術のイメージが強いが、意外に身近な接点がないことに気づいた。
- ・市民しんぶん、伝統文化の催しの鑑賞券をプレゼントしてほしい。

(女性)

- ・京都に暮らす人が、まちに愛着を持つようになって初めて、まちが元気になると思う。
- ・京都外の人だけではなく、京都内の人にも、京都の文化芸術に触れるきっかけを与えてほしい。
- ・文化芸術を発展させるためには、新しい取組の企画段階で市民の提案を取り入れ、時間をかけてじっくりと進めることが必要だと思う。
- ・最近、外国人観光客が増えているので、京都の文化芸術を外国人にも分かりやすく伝える工夫をすればどうか。

30歳代

(男性)

- ・伝統芸術に生きる人々と現代文化芸術に生きる人々とは考え方が違う部分が多いので、ギャップを埋めお互いを理解しないといけないと思う。
- ・アーティストやその卵が町中に住まい、創作できる豊かな環境を整える必要がある。

(女性)

- ・若いアーティストが発表できるような場を提供してほしい。
- ・子ども・高齢者も参加できるようなワークショップを催してほしい。
- ・文化芸術の発展にとどまらず、地域の活性化をも望む。
- ・赤ちゃん連れでも聴ける京響のコンサートを実施してほしい。
- ・京都に住むまで、祇園祭は山鉦巡行しか知らなかった。私のように、京都の文化の実際を知らない人は多い。
- ・能や狂言など、低料金で楽しめるようにしてほしい。

40歳代

(男性)

- ・文化芸術にかなり関心を持っているが、興味のない若者や子どもに強制的に教えることには反対である。

- ・子育て支援都市ならば、子ども連れでも参加できる文化芸術活動を教えてほしい。

(女性)

- ・京都の子どもたちに、身近にある文化財や伝統文化について学ぶきっかけを作って、京都の良さを教えてほしい。また、大人に対してもそういったことが学べる教室を開いてほしい。
- ・派閥・グループに捉われずに、芸術家が自由に発表できる場を提供すべき。
- ・身近な学校の校舎を利用した様々な催しをしてほしい。
- ・京都に住んでいない人が、住んでいる人よりも京都を大切に思っている。見習いたい。

50歳代

(男性)

- ・地場産業としての着物にもっと力を入れ、着物を着て歩きやすい京都にしてほしい。
- ・あくまで民間が中心に取り組むべきで、行政が前面に出ると型にはまったものになる恐れがある。
- ・「文化芸術都市の創生」には、相当の予算をつぎこむ覚悟が必要だと思う。

(女性)

- ・最近、寺院などでコンサートが行われているが、大変良い企画だと思う。
- ・京都会館の建て直しをしてほしい。バリアフリーになっている劇場もほとんどない。
- ・このアンケート結果をもとに、京都の伝統文化の継承を確実なものにしてほしい。

60歳代

(男性)

- ・文化芸術を、若い人だけでなく、高齢者にも楽しめるような配慮がほしい。
- ・京都は、他都市に比べ、文化芸術を発表する場所が少なすぎる。
- ・京都の文化芸術の発展に、市民が寄付することで寄与できるよう、広報活動をしてほしい。
- ・有名人や芸能人に頼らず、京都市民による文化の継承が必要である。
- ・京都の文化や歴史を、「京都創生」の取組などを通じて、もっと強調すべき。

(女性)

- ・小さい頃から文化芸術に身近に接することが必要だと思う。
- ・美術館や博物館などの文化芸術の施設が、京都市の東部に集まっており、南部、西部に少ない。

70歳以上

(男性)

- ・文化芸術の催しに無料で入場できる機会を増やしてほしい。
- ・市民しんぶんには、京都の各種の芸術の催しや講座の情報が多く掲載されていて、ためになる。より一層の情報をお願いする。

(女性)

- ・文化芸術活動に興味・関心はあるが、費用がかかるものが多いため、参加者が限られる傾向がある。
- ・国内外から芸術家を招く取組が、他都市に比べて少ない。多方面での行政の活発な支援を願っている。